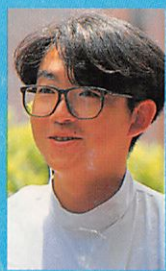
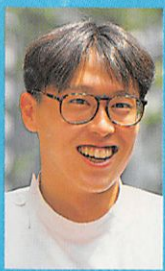
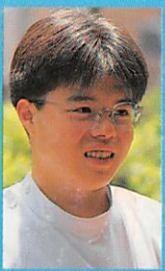
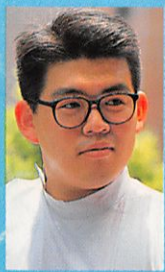
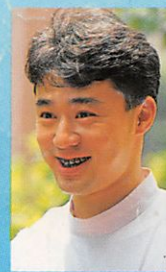


ZOOM UP



1992.No.79



歯界展望

真に愉快で素晴らしい人が、ADAの新会長となった。世界最古で最大の歯科協会のその132年の歴史で初めての女性会長、ということもさりながら、何よりもその人となりか抜群のジェラルディーン・モーロー医(以下M医と省略)。「女」に関する狭い社会の思考・偏見を気にせず、故にそれらに煩わされず、ただひたすらに医術の道を歩いてきた人だ。

「医術」と書いたのは、M医は専門分野は歯科医師ではあるものの、その心は「仁」だ



アメリカ歯科医師会(A.D.A)新会長

ジェラルディーン・T・モーロー

からだ。

実際のところ、彼女の口からよくとび出すのは、「私達ヘルス・ケア・プロフェッショナルは——」という言葉である。そしてほぼ40年にわたる経歴を通して、終始彼女が力説し実行してきた信念は、「歯科医術は、患者を総体的人間として、その肉体と精神の両方の治療をカバーする。」である。

そしてこの哲学を、ADAに浸透させることを、新会長としての目的のひとつとしている。「体の病の病状は、最初に口腔内に現れる場合が少なくない。体験から、私は患者の精神状態迄、その口腔内の状態から判断出来る

ことを知りました。」と彼女は言う。

他に新会長として彼女が目的としているのは、議員や政府団体と歯科医が密接な関係を持って、どの様な人達でもベスト・ケアを安心して受けられるようにもっていくことへの奨励だ。「どの様な人達でも」の中にも含まれるのは、身体障害者、エイズを含む伝染性の病を持つ人、寝たきりの(又はそれに近い)人、高齢者、収入が乏しい人達、である。エイズとHIVテストに関しては、ADAはワン・ボイス(ひとつの声=足並みを揃えて)で、患者、議員、そしてメディアに対して、大衆を

保護するには「科学的アプローチしかない」ということを強調すべき、という意見である。勿論、初代女性会長であるところから、これを機会に、女性や他の少数民族の歯科医師分野への進出増加の奨励も希望している。「新しい血」を導入することに依って、ADAが歯科医療のレベルを更に高めるのに貢献することを願っている。M医は1930年にマサチューセッツ州に生まれ、ティーンエジャー時代に既にデンタル・アシスタントとして働き、次いでハイジニストとなった。しかしもっと責任をもって患者の治療に当たりたく、ボストンのタフツ歯科大学に入学。1956年の卒業と同時に、アラスカのアンカレッジのインディアン・ヘルス・サービスに勤務。3年契約のインターンシップだったが、6カ月もの間、このスタッフの歯科医は彼女だけだった。

「アラスカに行つてすぐ気付いたのは持ち込まれた近代文化が、そのネイティブ・アメリカン(インディアン、エスキモーその他)に、ひどいヘルス問題を引きおこしていることでした。それで私はその時点で、この状態改善の為に、政府援助金と民間運営の結合を図る決心をしたのです。

この彼女の言葉は、ADA新会長に至る彼女の生涯を物語つてあまりあるものだ。この人の生涯は、改善すべき状態にぶつかると、それを改善することのみに没頭して明け暮

れる強い意志を備えていることだ。その時の彼女の決意が、今でも民間運営による生活保護、医療保障制度による支払い、保険、のモデルとされているデルタ・デンタル・コーポレーション・オブ・アラスカを実現させることとなった。その他、アラスカ州の歯科教育のみならず、ヘルス・ケア全般にわたって、彼女は大きな影響・足跡を残している。M医の貢献は、全く数え上げたらキリがない、といつても決して大げさではあるまい。

アラスカ州で20年間、M医はただ一人の女性歯科医だったが、当の本人はそんな事は意識もせず、考えもしなかったようだ。パイオニアにはそういう人が多い。

次々と彼女の活躍の場は広がり、ADAの第11地区理事として、アイダホ、モンタナ、オレゴン、ワシントン、アラスカの各州の歯科医師代表を6年するにいたっている。ちなみに、ADAは全米16地区に分かれ、54の地域組織、503の地域歯科協会から成り、メンバー数は今や15万人を越す。女性のメンバーはその15%ほどだ。今こそ歯科学学生の35%ほどが女性だが、M医の時代、女性歯科医は全く稀れな存在だったようだ。

稀れな存在となる人は、当然のこと、稀れなことをする。M医は会長になった現在でも、時間の許すかぎりアラスカのツンドラでの歯科治療旅行を継続しているというその弱者に対するひたむきな“心”だ。

長年彼女は、ネイティブ・アメリカンのデンタル・ケアの為、辺鄙なところに存在する村に向いてきた。3人乗り、シングル・エンジンの小型機で、その機体にデンタル・チェアとポータブル・ジェネレーターをしばりつけて飛ぶのだそう。ツンドラの村には電気などないからだ。即製の診療所は木製の学校というか教室で、治療時間は朝8時から夜10時迄、連日一日20人以上の虫歯を治したり抜歯をしたりした後で、むき出しの床にスリーピング・バッグでひと眠り、という生活が物語っている。

仕事に熱心すぎてか、28年つれ添った地質学者のご主人と離婚して14年になる。子供は4人で、娘さんのひとり(32才)は歯科医だ。

この人の指揮下、この世界最大のADAもたぶん大きく、大衆が待ち望む良い方向に変らざるを得なくなりそうである。

わが校を語る

日本大学歯学部

歯学部長
西連寺 永康



■プロフィール

- 昭和28年3月 日本大学歯学部卒業
- 昭和30年4月 日本大学助手(歯学部)
- 昭和32年4月 日本原子力研究所ラジオアイソトープ
研究所 実験講師
- 昭和37年4月 日本大学助教授(歯学部)
- 昭和44年4月 日本大学教授(歯学部)
- 昭和58年4月 歯科病院長
- 昭和59年4月 日本私立歯科大学協会病院部会長
- 平成元年4月 歯学部長
- 平成3年4月 日本私立歯科大学協会副会長
- 平成4年3月 歯科医療研修振興財団専務理事

わが国の歯科医学界に多大な功績を残された佐藤運雄氏によって大正5年に設立された東洋歯科医学校が大正15年に日本大学と合併して、新しく生まれ変わったのが日本大学歯学部。通された応接室には氏の「恭黙忠道」の書が…。言葉の真の意はわからないが、西連寺歯学部長がおっしゃった「佐藤先生は、当時、歯科も医科も同じ身体を治す医療ということで、医歯の一元化を提言されていた方です。その頃そんな考え方をする人はいなかったようで、歯科界では異端視されていたようです」とのお話から、何となくわかるような気がする。もし当時そうした発想が受け入れられていたら…。今日の歯科医療界も大きく変わっていたことであろう。

ご紹介の西連寺歯学部長は数えて6代目。創立76年を迎えた大学には少ないが、それだけにじっくり大学の教育、方針を推進して行こうという気風が強いのであろう。

当大学の特徴・気質について——「私は他の私立大学についてはあまり知らないのですが、本歯学部を卒業後、東大の理学部化学科に10年間ほど行っていましたので、その辺りとの比較ですと(笑)。私立の学生の方が良く言えば包容力があると云うのかな、人間づき合いが上手ですね。が反面少し大ざっぱ(笑)というか理論・理屈は余り好まないようですね。もちろんこれも一概には云えませんが、個人差はありますが…。ただ今日の臨床医にはインフォームド・コンセントが大切と広く云われておりますように、こうした人柄は時代に合っているように思われます。人と人とのつながりは、理論だけでは成り立ちませんからね。」「時々国立の先生が当校に来て講義をされますが、こちらの学生は廊下で会えば必ず頭を下げますし、授業の前・後には全員立って挨拶する。めずらしい大学であると共に素晴らしい習慣ですね、と云われます。別に指導しているわけでもありませんが、誇れる気風ですね。」

ご専門は放射線学。現在当たり前のように使われているパノラマX線撮影「オルソパントモグラフィー」の命名者と知られている。また、歯学関係のラジオアイソトープ利用に関する世界のリーダーのおひとりでもある。

東大からカリフォルニア大学、更にハーバード大学の客員教授と、現在もちろんのだが、若き日の歯学部長のご活躍は、日本の歯科医療の新しい幕開けにとって多大なものがあつたであろうと想像する。1990年、ハーバード大学歯学部は、世界の歯科医学の研究・教育に著しい功績をあげた人物を表彰するPaul Goldhaber(ポール・ゴールドヘーバー)賞を制定したが、その第1回の受賞者の名誉を受けてもいる。

「ハーバード大学歯学部におります時入学

の審査をやらされてね。入学定員は15名と少なかったんですが、全国から600人程の応募がありそれを150人程に絞ってあり、その書類が成績の階層別に3つのグループに分けられていて、その階層グループ毎に何人かずつを審査員が自分の評価に従ってそれぞれ選択し、それをまとめて審査し合格者を決定していくのです。どうしてこのような選び方をするのかを学部長のRoy O. Greep(グループ)先生に尋ねると、「歯科・医科は社会性の非常に強い職業であるから、学生時代から、出来るだけ幅広い思考と行動ができるような集団にしておきたいと思えたのだ」と云うことでした。医療人の社会性、人と人との信頼が最も大切と云われる今、先生のお話を聞いて、やはりの感がする。

お生まれは福島県。歯科医(当校の前身・東洋歯科医学学校卒)の次男として育つ。当然のごとく歯科に…「いえいえ(笑)。歴史の先生になりたかったんですが、戦争に行きたくなかったんですよ(笑)。それで父の郷里にある茨城の多賀工專の金属科に入りましたが合格した途端艦砲射撃、そして終戦。1年でやめました(笑)。父のたつての勧めで当校の予科2年に入り、まだ出ることが出来ないのので現在に至っております」と笑われる。ご経歴が示すよう、勉強と研究一筋の道を歩まれて来た方であるが、ユーモアを交えてのゆったりとしたお話し振りは、先生のおっしゃる当校の気風そのまま、の感じてある。—各校ともカリキュラムの見直しで大変のようですが、「当校でもその見通しが著々と進んでおり、先日、教授会でその大綱を決定したところで。順調に行けば、平成5年度の入学生から新カリキュラムでスタートします。今の学生は気の毒ですねー、学ぶことが多過ぎて。私達にもその責任の一端はありますが、教える側は何でも教えたいという気持ちがありますからね。それもわかりますが、教育にはもう少し“ゆとり”が必要なのではないのでしょうか。人生でも無駄と思えることでも厭うなど。つまりあまり則物的になり過ぎるな、専門的なことだけにこだわるな、ということですね。その時は無駄、寄り道と思われることも、後で振り返るとそれが必ず生きてきて。若い間に他分野、専門外で受けた強い精神的なインパクトは生涯自分の支え、心に残りますからね。内村鑑三先生も“働け、働け、報酬を得るあたわずと雖も働け”と。もっともこれを今の学生に云うには内心忸怩(じくじ)たるものがありますか」とご自身の歩まれた道と現実の狭間を正直に。人間臭い魅力的な学部長である。—病院長として過ごした6年間。「大学付属病院は、学生の教育と病院としての任務と2つの面を持っていて、それを両立させなければならない。ただ、ど



んな組織、仕事でも長く続けておりますと慣れが出て来ましてね。つい相手の身になって考えることを忘れてしまいます。例えば義歯の印象一つをとっても、患者の方は一ヶ月も経っているのにまだ型ばかりとっていて義歯は出来ないのか、この学校はどうなっているのか!と怒りだすんですよ。患者にとっては当たり前ですよ(笑)。教える指導教員にとっては学生がキチッとした印象採得ができるように教えなければならないのですから、やり直させるのは当然でしょうが、患者さんの気持ちにまで気が回っていなかったんですね。その辺が難しいところですね。—保険制度の内容については?「現在の国民医療費の負担額についてはこれ以上は無理として…。ただ医科と歯科との割り合いです、人数だけをとってみますと医科は歯科の約3倍ですが、医療費の配分は歯科が1/10ほどとなっていますね。したがって、処置のひとつひとつの対価が必ずしも十分にリーズナブルなレベルには決められていないと言えるのではないのでしょうか。これでは歯科医は患者数を多くしなければやって行けません。当校では、学生の教育という面も持つ訳ですから、1人の歯科医師は1日平均4人位の患者しか治療できません。ですからこれだけをみれば大赤字です。教育経費としてそれをカバーしてはおりますが…。国民の総医療費の配分、この問題をどう解きほぐしていくか。いざとなると複雑な問題を孕んでいまして難しいでしょうね。ザックバラに悩み・矛盾を打ち明けてくれる。—過剰問題については?「以前、厚生省の適正歯科医師数検討の委員を務めた時、全国の49都道府県からアンケートを取ったことがあるんです。当時、多いと答えたところが13~14県、また逆に不足しているところもずい分多くありました。人口2000人に1人の歯科医師が妥当な数といわれますが、やはり歯科大学があるところと大都市圏に集中しており、その格差が大きいようですね。これなどは、差し当たっては、国の医療政策の中で数の分布の是正を考えてみるとか、世界の歯科医学・医療の潮流が大きく変革しているなかで、歯科医師自身も国民の健康と福祉の増進や、人々のQOLを高めることに、どのように係り合っていくのかなどを先の医療費の割合や学生数の削減なども含め、今をどう乗り越え将来の改善に向かって努力していくかを、真剣に考えておくことが一番大切なのではないでしょうか。ご自身の苦悩を素直に話される包容力と飾らないお人柄。国際人としての広い視野と心を感じさせる、名門大学歯学部を率いるにふさわしい学部長である。

社団法人 香川県歯科医師会



会 長／湖崎武敬
 副 会 長／西岡忠文
 副 会 長／井下博文
 専務理事／米田 亨
 常務理事／千代忠俊
 常務理事／林 稔
 常務理事／金香嘉郎
 常務理事／小谷一成
 常務理事／松下 忍
 理 事／金沢 健
 理 事／合田 清
 理 事／十川和彦
 理 事／平田正和
 理 事／武部裕光
 理 事／豊永達夫
 理 事／久保昌彦
 監 事／中山孝幸
 監 事／中井友昭
 監 事／安部 茂

瀬戸大橋が完成したことから、岡山駅からたった1時間の距離となった高松市。人口動態、物流の状態も今後は大きく変化して行くことであろう。

県歯会館は高松駅より徒歩でおよそ10分。「OA機器の導入や設備の拡大で狭くなって来ました」と云われるが、この地の利は会員の方々にとって、実に好都合な立地であろう。ウィークデーで皆さん診療を終えられてからの会合ということであろうが、夜7時からの役員会に遠方からお出掛けの先生もおられ、そのご努力、情熱には頭の下がる思いである。

会議に先立ち、湖崎会長、西岡、井下両副会長、米田専務理事、千代常務理事の5名の役員の方々から香川県歯科医師会の現状活動と将来展望等を語って頂いた。尚、湖崎会長は今年58才、既に4年のご経歴。それ以前、高松市の会長ご就任時は42才だったと云われるから、その実力、統率力は抜群なのであろう、と想

会
長／
湖崎
武敬



像する。「よってここにいます役員も全委会長より年は下(笑)」と米田専務理事。「私達は年代的に丁度中間におりますから、若い方の意見も年をめされた先生のお話しも双方の事情が良くわかります。ギャップや学閥もありませんし、会員同士のコミュニケーションは非常に旨くいっていると自負しております」と会長。

今、日本の歯科界は大きな転換期を迎えている。若さ溢れる香川県の歯科医師会のエネルギーと言動に期待すること「大」である。そうした雰囲気の中で、当方も、いたってリラックス、皆さんにザックバラン、雑談形式で語って頂いた。

Q：各地の先生方を回っていて、会員の方々に、我々の意見が上部に伝わって行かない、という声が聞かれますが、その点についてはいかがですか？

会長：ええ、我々執行部もその辺は悩んでいるのですが…。当県は463名の会員が11の郡市会、会員数の関係から高松市には7つの支部があるのですが、そうした会合に出席しても、余り発言がないのです。それは、良くいっているのか？仕方がないと諦めているか？私達執行部の方も終わってから心配もするし、フラストレーションが残るんですよ(笑)。

千代：会員同士の各種の集まりでは色々としていっているんでしょうが、やはり公(おおよけ)の場で、本当に云いたいことや意見をキチッと云ってほしいですね。それでな

いと一つの形として、中央につながって行きませんしね。

常
務
理
事／
千代
忠俊



米田：役員になる前は、若い方々と色々話しをしていたし、自分でもつき合いが多いと思っていたんですが、役職についての途端、難しいですね。結構プレッシャーは感じているんですよ(笑)。今年は学校歯

専
務
理
事／
米田
亨



科歯会を統合したことから、会員の会費を年間約2万円アップしたんですが、こうした時期での値上げ、抵抗が強いと思ったのですが、皆さん理解してくれてね。ホッとしているところです。

会長：各郡市部の会長さんが、その分苦勞をされているようで、気の毒に思っているんです。非会員の方が現在5~6名おられますが、そうした方の入会問題や今後実施して行く予定の高齢者訪問診療等、県の執行部より郡市の会長さんのご努力は大変なものだ、と思っています。やはりどんな問題でも「誠意を持って正直に話せばわかる」これが私の持論なのですが、そうした姿勢でこれからもやって行き度いと思っています。

西岡：訪問診療の実態なのですが、昨年4月、

副会長／西岡忠文



まず高松市内、高齢対象者250名の半分125名から保健婦さんと衛生士、ドクターがチームとなって実施しております。今後は会長の諮問機関である“21世紀に向かって考える”を指針とし、県民全体の口腔診査・検診を衛生士会や材料店とも連携してやって行き度いと思っております。又、そうした参加実施も若い先生方の活躍、当県では40才以下の先生15名につき1名を選び政連青年部と称して、本会の行事や会合に出席してもらっておりますが、やはり現場の第一線で行動して頂くためには、行政力と共に若い先生の理解なくしては出来ません。その他丸亀支部が中心となった離島や避地診療。公衆衛生や税務処理問題等、各県ともやられているようですが多方面に亘って活動しております。

井下：研修会は講師に11の郡市会を回って頂き、同じ内容の講演を依頼、好評のよう

す。又、従業員不足の折柄、毎年6月から11月迄、約100名を集中講義期間として日歯認定助手講習会を実施しております。今後はこの講習会を一般公募とし、広く一般からの女性参加を呼びかけていく方針です。加えて歯科衛生士分野での歯科衛生士バンクの設立。これはリタイアされた衛生士の再復帰の促進です。各種の状況から年々減少傾向にあり、50名の衛生士の養成では足りないとの会員の要望

副会長／井下博文



に應えるためですが、難しい問題を含んでおりますので…。我々にも責任があると思っております。会員の厚生面は、今年はB型肝炎検査とその予防接種。家族、従業員を含め現在650名の申し込み者がありました。その他、技工士や衛生士等の意識調査とその分析の実施——経営者がスタッフを雇用される場合はきつと役立つことと思っております。

千代：衛生士の問題ですが、雇用者側はやは

り若い女性ということにこだわることで、一度リタイアされると、現場復帰を望んでいても、材料・薬品その他の医療進歩に追いつけなく、ついていかれないということがあるんですね。雇用者側もその点をもう少し考えてくれますと、多少緩和されるのでは、と思っております。

米田：障害者歯科治療は、当県は全国で3番目に早く、しかも予防を含め完全治療をやること、をモットーに徳島大学歯学部先生にご協力を願って実施しております。今後はそうしたことに加えて、老人医療面も大きくクローズアップされて参りますが、行政側とのタイアップや全会員が気持ち良く参加出来る会としての方向を見い出して行き度いと思っております。

会長：現在当県民の人口はおよそ100万人ですが、この県民のために我々歯科医師は、何が出来るか、何をなすべきか、を21世紀に向って原点にもどって再考してみることが必要ではないか、と思っております。その為には進んで外部、他分野の人達と交わり、まずお互いの実状を知ること。それが改善につながる第一歩だと考えます。地域住民との信頼関係と相互理解。これを目標に、これからも会員の皆さんと共に頑張りたいと願っております。





おおくら歯科医院

大分県日田市本町10-18

院長 大倉秀一郎





福岡市街から高速道に乗り車でおよそ1時間。山間を抜けると突然といった感じで眼下に日田市の街が広がる。北に花月川から続く英彦山、東に九重連峰、南に船遊びや鶴飼いで知られる三隈川から阿蘇山と。山々に囲まれた日田盆地はまさに九州の京都と呼ばれるにふさわしい郷愁をさそう街である。

ご紹介の「おおくら歯科医院」は日田駅から徒歩で4~5分、三隈川にぬける広い遊歩道に面し建っている。外壁はグレー、屋根、柱、窓枠等は黒と、モダンな中にも周囲の建物に溶け込んだ雰囲気漂わせていた。

玄関・風防室は下面までの素通しガラス。続く待合室は薄紫の簡易カーペットに側面はアール状の素通しのブロックガラス。それに沿ってブルーの待合用椅子が並ぶ。道路が完全舗装されたことから近年多くなって来たが、当院も待合室は靴のまま。

オープンスタイルの受付脇からスリッパに履き変え診療室へ。窓に沿った側面を通路とし、入口近くには中待合室が設けられている。詳しくは後ほど院長にお聞きするとして、個人医院ではめずらしい試みだ。左面の各ユニットはL字形のセパレーションに囲まれ中には濃紫の(クファイン)L型モービルタイプが並ぶ。ただこのセパレーションは手前に段差がつけられているため、患者には隣が見えないが、術者には総てのユニットが見渡せるよう考えられている。又L面の角を利用し、上部にモニターテレビ、下部は患者さ

んの物置き場と、無駄なく空間を活用している。患者とスタッフの動線が完全にわかれている、機能的で働きやすそうな診療室である。

院長は九州歯科大学を卒業後、同大大学院と小児歯科教室で4年間研修生活を。その後勤務医を2年経験、昨年12月、生まれ故郷である当地に戻り開業に踏み切られた。小児歯科を選ばれたと云われるだけあって、やさしそうな童顔の32才である。

Q：モダンで落ち着いた良い歯科医院ですね。周辺に歯科医院は多いですか？

院長：以前あった、私が生まれ育った家は100年以上も経った古い建物で、各所に愛着や良いところもあったんですが、市の区画整理にあったことと、そのままでは歯科医院には向かないので、思い切って建て替えました。回りには歯科医院が多く、新規開業ではご迷惑をかけたと思いますが、歯科医師会も周辺の先輩医院も暖かく迎えてくれましてね。大変感謝しております。

Q：志された動機は？

院長：長男ですし、両親をこの地に残していることから、この地で出来る職業は何か、と云うことで…。医科も考えたのですが、早く帰って独立出来ることから歯科を選びました。

Q：で、今はいかがですか？

院長：高校時代の友人はやはり大都市に行

って戻らない人が多いのですが、小学・中学時代の友人は残っておられる人が多く、人間関係が復活出来たのうれしいですよ。又、治療が終わると相手から”ありがとうございました”と丁寧に云われる職業は、こうした職業だけでしょう。この仕事の内容も好きですし、選んで良かったと思っています。

Q：診療上心がけている点は？

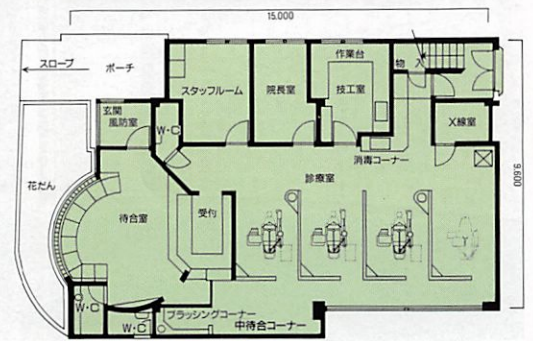
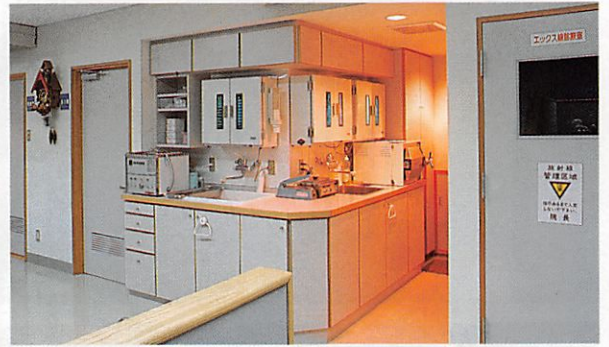
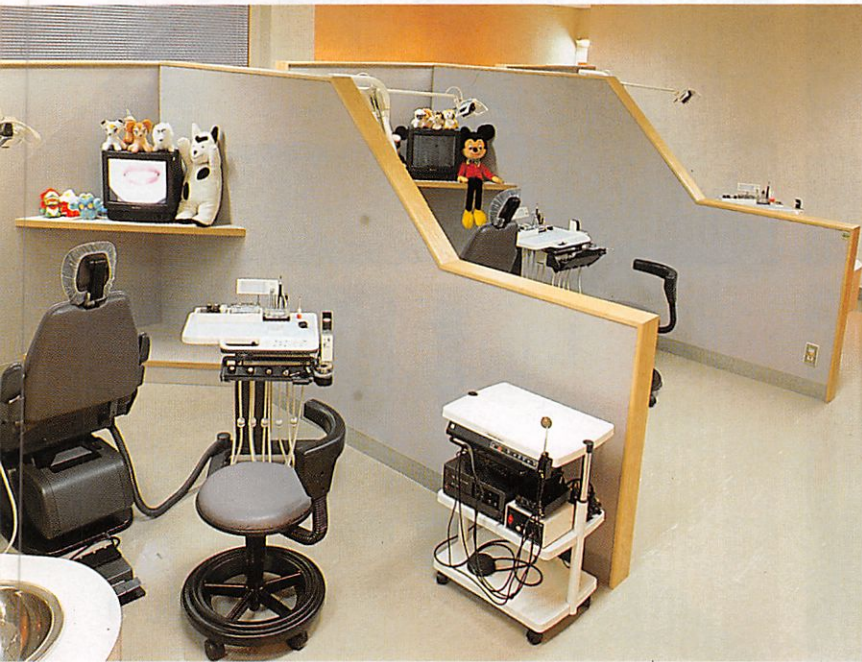
院長：小児歯科を長年やっておりましたので、ブロック診療のクセがありまして…。初診時に、よく患者さんのニーズを聞いて、相手の要望と口腔状態を説明しながら治療するように心がけております。

Q：スタッフ数、患者数は？

院長：ドクター1名、助手3名、アルバイトですが衛生士1名で、患者数は1日平均30~35名前後ですね。

Q：良く考えられた設計ですが、留意された点は？また中待合室を作られたのは？

院長：患者さんとスタッフの動線分離と中待合室を作ることでした。中待合室を作ったことは、すぐ治療が終る患者さんにここへ座ってもらってエプロンを付け、現状説明等この場で済ますことと、歯科医院に対して恐怖感を持つ小児のためです。低年齢のお子さんは、まずここに座って室内の雰囲気慣れさせ、その後TSDを。終わって慣れたな、と思ったら順番にユニットに座って治療に入る。そ



の動機づけにぜひとも必要と思って設けました。大学時代は強制治療が多かったんですが、今は1人30分~1時間ぐらいはかけられるものですから…。開業して小児歯科本来の形をだんだん採れるようになりました。これも私自身が子供を持ったことが、大いに影響しているかも知れませんね(笑)。

Q: では今は全く不満はない?

院長: 欲を云ったらキリがありませんが、受付近くにすぐ待合室に出られるドアを作れば良かったな、と。本などで散らかった室内をこまめにすぐ片づけられるためです。今はユニットの側面を通り、回って出て来なければなりませんから…。

Q: ご自身の勉強は?

院長: 色々とあり過ぎて(笑)。でも一番の関心は顎関節症ですね。この歪みが全身にいろいろな影響を及ぼすことから、まずこの勉強を、とっております。その他一般的には講習を受けた新しいものを実践の場でいかに本物——自分の治療に採り入れていくか。そういったことを心掛けています。

Q: 今後は?

院長: 治療内容は当たり前ですが、やはり地域での医療はお互いのコミュニケーションですね。スタッフにも、とにかく自分から話しかけること。会話を大切に云っ

ております。街も新しく生まれ変わって来ていますが、そうした社会の変化に伴って人間関係も少しづつ変わって行くと思います。地域の歯科医師としてもっと人間臭いところで患者さんとの付き合いを深めながら、時代に合わせ若い人達の考え方を採り入れる。戦略など考えず一步一步やって行き度いと思っております。

Q: オサダの〈クフィン〉L型モビルを選ばれましたが、何故ですか?

院長: この日田市にはどのメーカーも営業所を持っていないことから、まず故障が少

ないこと。次は故障があってもすぐ来てくれるメーカーを。メンテナンスが良いとの評判からオサダを選びました。モビルタイプは、先に云いましたように、スタッフと患者さんの動線の完全分離を初めから考えておりましたので…。ユニットの調子については文句ありません。また各ユニット前面にテレビを設置、〈マルチビジョンS型〉と接合し、モチベーションづくりに利用しておりますが、これもいいですね。





米倉歯科

愛知県春日井市勝川町3-1

院長 米倉幹雄





名古屋市街から庄内川を渡り車で4～5分、名古屋市内への幹線道路である国道19号線と空港への道が交差する勝川3丁目。その角地に今年4月ご開業したばかりの米倉歯科がある。台形に作られた交差点側の建物には紺字で大きく医院表示が。これなら一目でここが歯科医院であることがわかる。玄関、診療室及び駐車場は裏面に設置。騒音と西日又排ガスなどを離れて作られている。

待合室は薄緑のところどころに薄紫の正方形模様が入ったタイルカーペット。コの字型の窓に沿って12～13人は座れると思われるグレーの椅子が。受付は広いオープンカウンター方式を採用している。

前面駐車場に面し作られた診療室には濃淡グレーの〈ファインGM〉S型2台とL型1台が設置されている。各ユニット間を腰までの低い手洗いコーナーで区切り、通路を挟んだ背面は背丈ぐらいの高さの消毒コーナーが並ぶ。天井までの余分な仕切りが全くないため、室全体が広々とした開放感を与える。若いドクターに笑顔の絶えない若いスタッフ、気持ちの良い明るい診療室だ。

院長は愛知学院大学歯学部を卒業後、3年2ヶ月勤務医を。その後知人の歯科医院を全面的にまかされ、院長として5年半を過ごす。一見物事にこだわらない、明るい現代っ子を思いますが、経験は充分、お話の内容は自己の

生き方をしっかり見据えておられる青年医師。患者さんとのコミュニケーションも話題豊富で好評であろう、と想像する。

Q：立地条件も建物も素晴らしいですね。

院長：土地は借地なんです。開業にあたってずい分アチコチと探しました。回りに迷惑をかけないため歯科医院は極力少ないこと。交通等の便が良く、ある程度目立つこと、などを条件に。ここがそうした条件にピッタリで、すぐ決めました。

Q：今どきの場所で借地とのこと。めずらしいですね。

院長：ええ、地主である大家さんはコンビニエンスストア等色々と話が来ていたようですが、自身の老後のことも考えていたのかな、とにかく医院に貸したいとのこと…。ラッキーでした。土地は105坪。建物は40坪弱、これは自分で建てました。

Q：建物について留意された点は？

院長：そんな訳で立地にはずい分こだわりましたが、建物は総ておまかせでした(笑)。多少不自由かな、と思う箇所もありますが、ずっと使えばその内慣れるでしょう(笑)。

Q：歯科医師を志された動機は？

院長：父は薬剤師、叔父が耳鼻科をやっておりますから、多少は医療ということが頭

にあったかも知れません。

Q：で今は？良かったと？

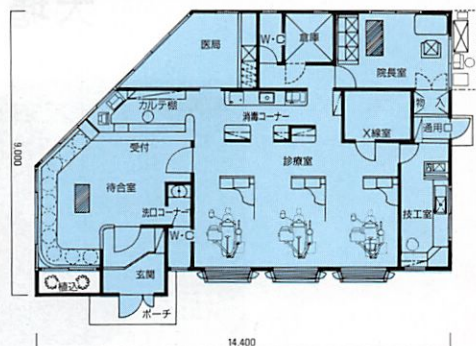
院長：わかりませんね(笑)。ただどんな職業でも、トップに立つ人とそれを支える人があって成り立つわけでしょう。自分では1人でコツコツやる仕事が好きで、大きな責任をかぶせられることは苦手なタイプだと思っています。後をふり返らず、その時々で全力を尽くすこと。もっと良い職業が見つければその時はわかりませんね(笑)。

Q：診療で留意されていることは？

院長：昔は知らないのかわからないのですが、私達の世代は患者さんの立場にたつて、治療についてもキチッと説明することが当たり前だと思っていますから。保険をベースに、その範囲内でいかにしっかりした治療をやるか。それだけです。

Q：インフォームド・コンセントが大切といわれておりますが、やはり治療の際のベースでしょうね。

院長：当然だと思います。時々、治療中の歯の隣りも悪くなっているの、現在の状態を説明し治療しましょうかと聞くと、そんな説明を聞かされたのは初めてだ、と云う患者さんがいるんですよ。治療が終わってから本人の訴え以外にムシ歯があったから治しておきましたでは…。患



者自身も何か後味が悪いでしょうね。エステティックや高い貴金属での治療も、現代社会において必要な医療だとは思いますが、それを自費で治そうと保険で治そうと患者本人の自由だと思うのです。日本の医療は総て保険がベースになっているのですから、制度、内容はともかく、本人が希望しない限りその範囲内で医療を施さねばならないと思っています。私達の世代の先生方はそうした考え方で治療をしている人が案外多いと思いますよ。

Q：患者層は？

院長：ご近所の方とサラリーマン。それと申す通り、名古屋市内に通勤する人が、朝夕看板を見ているんですね。そうした方々が突然といった形で来院されます。

Q：ご趣味は？

院長：色々あり過ぎて(笑)。今は海に潜ることが好きで暇があれば(笑)。でもこちらにストレスがたまれば患者さんもすぐわかります。余裕をもってゆったり治療していれば、それが相手にも伝わり安心して受けられると思いますよ。我々の職業は院内での変わりはないし、まず体力維持と、リラクゼーションを…。これは遊びたいための云い訳かな(笑)。とにかく私はオンとオフをキチッとわけたいで

すね。勉強も仕事も遊びも同じ比重で…。今の社会状態は変化していますし、今後増々そうした傾向になっていくのではないのでしょうか。

Q：将来の方向は？

院長：とりたててこうしたい、ということはありませんね。基本的に忠実に、丁寧な治療をこのまま続けてゆく、ということだけです。あそこが(医院)良いと思えば、必ず患者さんは他の人に話します。口込みがこの職業では最も重要だと思います

ね。

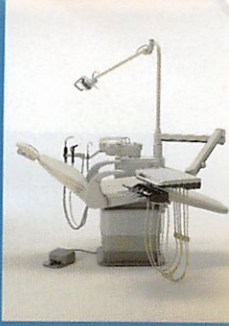
Q：〈ファインGM〉を選ばれたのは？

院長：勤務医時代GMをずっと使っておりまして、オサダのユニットの性能やアフターケアの良さは知っていました。開業に際し、横浜のデンタルショーやショールームに行き、形も性能も良い、とこれに決めました。Lタイプはお年寄りや義歯調整用に1台。S型はスマートなイメージと最低位が低いので、特に子供さんなどに良いのではと思い2台購入しました。



オサダと共に…

オサダ商品・ご感想ありがとうございます。



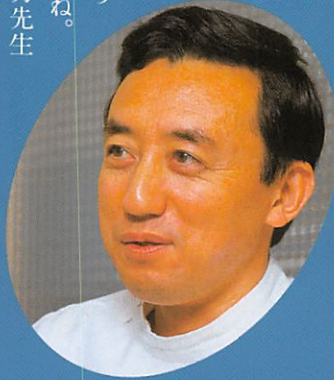
—スマイリーノーベルS型の使用感—

スマートで形も良く、
GMと比べても全く違和感がない
（スマイリーノーベル）。
アフターケアの良いオサダの製品は
安心して使ってもらえます。
楠 雅博先生



—ファインGM-L型の使用感—

軽いタッチのインスツルメントや
明るい照射。——アフターに加えて、
毎日使うものだから
こうした機能は助かりますね。
小笠原 正男先生



—ファインGM-S型の使用感—

（ファインGM-S型は一般歯科に。
移動自由なモービル型は
危険をともなうお子さんと
老人に使っております。）
矢作 泰紹先生



—スマイリーノーベルL型の使用感—

常に研究心旺盛なオサダから、
形も色もスマートな雰囲気を持つ
（ノーベル）型を
選びました。
市川明彦先生



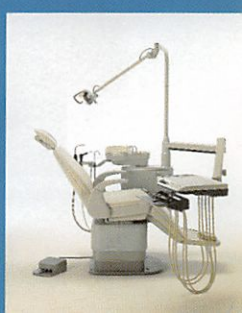
—ファインGM-ML型の使用感—

病原性疾患を防ぐ消毒面や、
アシスタントの動きにも気を配った製品。
今後はこうした行き届いたユニットこそ、
大切だと思います。
荒木 進先生



—ファインGM-RL型の使用感—

動線も交差せず、立位・座位でも
高低自由にワークテーブルが手元に来る。
私の希望する条件を総て
満たしているユニットでした。
前田恵三先生



OSADA
Fine
GM

S series

新時代を飾るアーバンスタイリングの
ニューモデル。
スマイリーファインの機能を生かして、
よりシンプルで操作しやすい、
コンタータイプのデンタルユニットです。



●仕様 ●電源 AC100V・7.5A・50/60Hz ●重量 226kg ●チェア部 コンタータイプ、昇降リンク方式、2ポジション | Cメモリー付、昇降・チルト・背板全駆動ギヤードモーター、自動復元装置付 ●高さ 370~770mm ●ワンタッチ給水取口付 ●ワンタッチエア取口付 ￥4,360,000~￥4,730,000

※表示価格は消費税抜きの価格です。消費税は別途申し受けます。

やはぎ歯科クリニック

千葉県船橋市習志野台6-5-7



JR津田沼駅から新京成電鉄に乗りかえ4つ目。北習志野駅から両側に櫛の茂る緑豊かな商店街を10分程歩くと今年3月ご開業したばかりのへやはぎ歯科クリニックに着く。およそ70坪の南角地一杯に建物を建てそれをL字型に囲んで駐車場を設けている。

院長は学卒後、新宿で4年間勤務医を経験。奥様も同大付属衛生専門学校卒という、デンタル・コンビ。歯科医院らしくない歯科医院を、ということの外観も丸太を形どった、真つ白いペンション風。診療室内部も濃淡グレーと白でまとめ、飾りは可愛い縫いぐるみと観葉植物のみ、とスッキリ明るいメルヘン調。若者好みの演出である。「この辺りは駅周辺を含め歯科医院が多くなりの激戦地ですが、祖父が昔この近辺に土地を持っていたことで親戚も多くこの地を選びました。患者層も午前中は主婦、午後からは子供さん、夕方は勤めを終えたサラリーマン。1日20名から多い時は30名位の患者数です。また先のことばかりませんが、地域に貢献する歯科医院を目指し「一步一步進んで行きたいと思っています」とキツパリ。

勤務医時代はずっとオサダの「GM」を使っていましたので、開業時はオサダと決めていました。1月の横浜デンタルショーでこの「フラインGM」タイプを見て、形もスッキリしているし、機能も使いたれたGMの良さが活きている。すぐ決めてしまいました。移動自由なモービルタイプの「フラインGM」MLは、お年寄りや時々嫌がって足を跳ね上げる子供さんの治療の為に1台設置しました。思った通りのユニットで全く問題はありませんね。

院長 矢作泰紹(日本大学松戸歯学部卒・29才)

「フラインGM」S型は一般歯科に。
移動自由なモービル型は危険をとまなうお子さんや老人に使っております。



製造承認番号03日第0455号

OSADA Fine GM

L series

ご年輩の方やお子様の治療に優しい
L型ステップ付のファインGM-L。
スイッチ操作は把手部とアシスタントホルダー部に
集中装備した、
多機能な
デンタルユニットです。

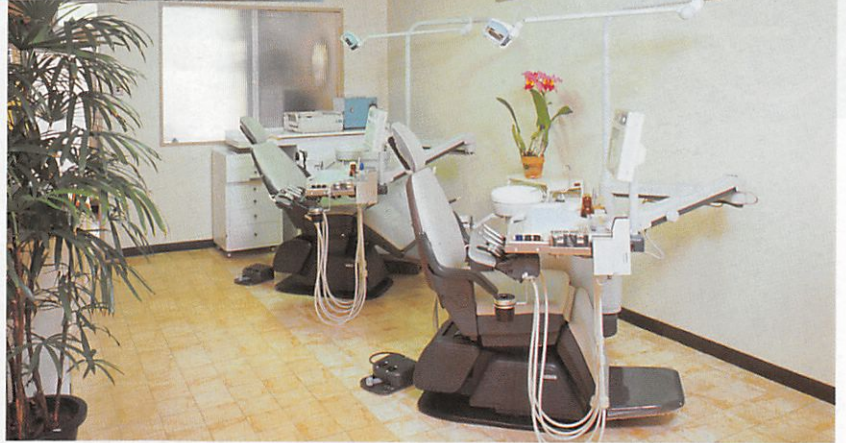


●仕様 ●電源 AC100V・7.5A・50/60Hz ●重量 237kg ●チェア部 L型ステップ付、昇降リンク方式、2ポジション | Cメモリー付、昇降・チルト・背板全駆動ギヤードモーター、自動復元装置付 ●高さ 450~820% ●ワンタッチ給水取口付 ●ワンタッチチェア取口付 ￥4,360,000~￥4,730,000

※表示価格は消費税抜きの価格です。消費税は別途申し受けます。

小笠原歯科医院

横浜市栄区小菅ヶ谷町2000

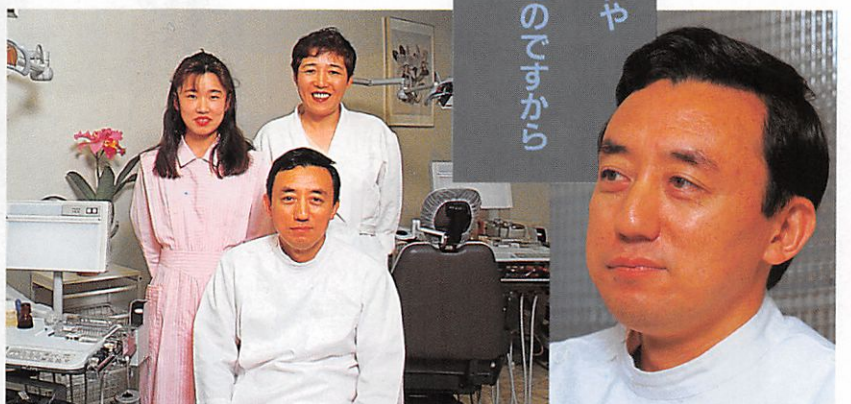


根岸線・本郷台駅横のアーケード街に開業以来16年目を迎える小笠原歯科医院。ご出身は青森県・津軽地方であるが、地元の大学を卒業したことから市の誘致に応募して入居。ご長女も今年神歯大3年といわれるから、3代目を迎えるのももうすぐだ。『当時はこうした市で住居と商店街を一つにした誘致建物は全国でも初めてのようでした。入居条件もありまして上部に住まわれている高齢者や身体障害者の住診に行くこともあります。その他の患者層は主に周辺に多い団地の主婦の方々、夕方からはサラリーマンの方が来院されます。栄地区の専務理事として既に4年。口数は余り多くないが、誠実に真面目なご性格が若い会員の方々から信頼を受けているご様子。『県・市の活動も活発になってきましたし、野球、スキー、ゴルフ等の厚生方面も若い会員の方々には好評のようです。私も地域に根ざした歯科医師として、地元に貢献しつつ、会員間の和を図りながら今後も頑張りたい』と思っております。

軽いタッチのインスツルメントや
明るい照射。
アフターに加えて、毎日使うものだから
こうした機能は助かりますね。

開業当初はお金もなくローンで他社製品を入れましたが、いつの間にかオサダファンになってしまいました。△ラインGMLは材料店のすすめでショールームに行き一目で気に入ってしまいました。この歳になりますと、老眼、肩こりと色々ありましてね(笑)。軽いインスツルメント、明るい照射等は毎日使うものですから助かりますよ。横浜西部総合保険センターでもオサダのユニットは好評ですし。昔と違ってハイテクを駆使した機器は、アフターケアのしっかりしたメーカーでないとお手上げですよ。

院長 小笠原 正男 (神奈川県歯科大学卒・48才)



製造承認番号03日第0455号

OSADA
Fine
GM

RL series

動線分離、前方導入可能なファインGM-RL。
前方空間が広く、
しかもテーブルアームの可動もスムーズな
新タイプのベースマウントタイプの
デンタルユニットです。



●仕様 ●電源 AC100V・7.5A・50/60Hz ●重量 246Kg ●チェア一部 L型ステップ付、昇降リンク方式、2ポジション | Oメモリー付、昇降・チルト・背板全
駆動ギヤードモーター、自動復元装置付 ●高さ 450~820mm ●ワンタッチ給水取出口 ●ワンタッチエア取出口 ￥4,620,000~￥4,990,000

※表示価格は消費税抜きの価格です。消費税は別途申し受けます。



東名吉田I・Cから車でおよそ15分。前田歯科医院は御前崎に向かう静かな田園風景が点在する住宅地に建っている。院長は卒業後、東京、神戸で勤務医を2年。その後神戸大学口腔外科教室から新設された臨床検査医学系の大学院へと進まれた学究派。開業2年後に研究に復帰、発表された3つの英語論文の内、特に世界的に権威ある米国の血液専門医学誌「Blood」とがん専門誌「Cancer」に、それぞれ白血球細胞のプリン代謝、悪性リンパ腫の補助診断法と題して掲載された2つの研究論文は、大学の研究医ならともかく、開業医にとつては稀有なこと。しかも後者にはこうした論文審査にはつきものの書き直し要求が一切なかったと云われるから、更に驚かされる。現在は免疫生化学からみた歯周病に関する論文とその治療薬の開発へと進まれているご様子。国際舞台で大活躍される日も間近であらう。

「そんな訳で治療は月火水土、木金の2日は講師を務める浜松医科大学の研究室に通っております。昔からこうした基礎研究が好きで本当のことを云うと臨床医はあまり向いて

動線も交差せず、立位・座位でも高低自由にワークテーブルが手元に来る。私の希望する条件を総て満たしているユニットでした。



おりませんね」と笑われる。傍らから衛生士である奥様が「治療自分の納得した形でキチッとやりますから、人数も多くは診れません。今のままが理想ですが、紹介患者が多く、身体が心配です」と。学問と臨床と。口で云うのはやさしいが、その双方を立派に開花されている院長の医療にかける情熱には頭が下がる思いがする。

は立ったり座ったりするのが身体に良いと言われています。印象採得時の患者座位の真正面はもう当たり前ですが、時には私は水平診療も立位でやります。そんな時でも自分の高さ、近くにワークテーブルが来るのがこのユニットの利点です。アフターケアの良いオサダに理想のユニットを見つけ、すぐ決めました。

院長 前田恵二
(東京医科歯科大学卒・44才)

OSADA
Fine
GM

ML series

ワークテーブルを排除し、前方導入を可能にした
L型ステップ付のファインGM-ML。
安全性を十二分に考慮した
ファインGMのモービルカートタイプの
デンタルユニットです。

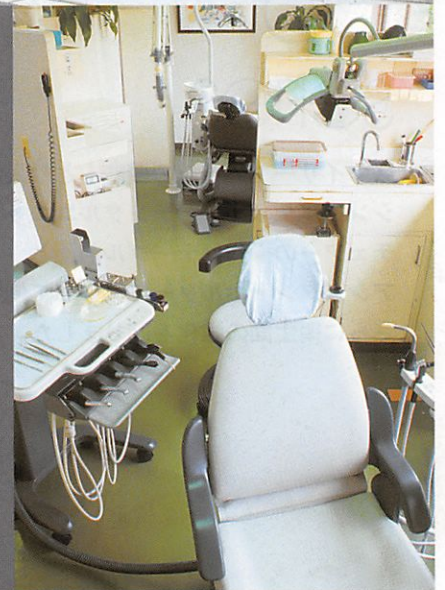


●仕様 ●電源 AC100V・7.5A・50/60Hz ●重量 247kg ●チェア部 L型ステップ付、昇降リンク方式、2ポジション10メモリー付、昇降・チルト・背板全駆動ギヤードモーター、自動復元装置付 ●高さ 450~820mm ●ワンタッチ給水取口付 ●ワンタッチエア取口付
¥4,620,000~¥4,990,000

*表示価格は消費税抜きの価格です。消費税は別途申し受けます。

荒木歯科医院

名古屋市緑区青山2-196



医原性疾患を防ぐ消毒面や、アシスタントの動きにも気を配った製品。今後はこうした行き届いたユニットこそ大切だと思います。

JR大高 名鉄鳴海・左京山、この3駅を結んだほぼ中間地。緑区役所前の静かな住宅街に建つ荒木歯科。診療室の窓からは緑豊かな木々、田畑が広がる。4ヶ所にセパレートされた室内の最初のブラッシングルームには、ユニットと共に3台のモニターテレビ、カメラ、スライド設備一式、洗口コーナーと万全。院長の歯科医療にかける熱心さがわかるようだ。

院長は卒後同大で補綴を3年、勤務医を2年経験後開業。今年15年を迎える中堅医師である。「この辺りは古い街ですから、老人も多く、補綴で困っている人が結構多いようです。患者さんにゆっくり説明すること

で、まだまだ開拓、歯科医師としてやるべきことは一杯あると思います。が、そうした説明時間が全く保険では認められず、非常に残念です。」「ペリオの患者さんも、あと半歩、自身の口腔内を理解することによって、日歯提唱の8020に近づけると思うのですが。」「ユニットに座った患者さんに過去からのフィルムと現状の全顎写真を比較しながら丁寧に説明されている院長の姿が、当院の方針・姿勢を物語っているようだ。

院長 荒木 進(愛知学院大学歯学部卒・44才)

◇ 工場に近いことと、アフターケアの良さからずつとオサダを使っております。今度、ヘアインGM モービルL型を選んだのは、薬品や機器が総て背面で操作されるため、術者と患者の動線が交差せず、危険が少ない、と判断したからです。形も曲線が多くスマート、プラス、消毒面や掃除も簡単ということも良いですね。医原性疾患を防ぐ消毒面やアシスタントの動きにも気を配った製品。今後はこうした方面でも行き届いた機器が大切だと思います。



製造承認番号03B第0455号

SMILY NOBEL

スマイリーノーベル

S series

スマイリーファインの機能を取り入れ、
シンプルデザインのデンタルユニットです。
チェアの操作はテーブル前面と
アシスタントホルダーに集中して使い易く、
さらに衛生面の強化を図りました。



●仕様 ●電源 AC100V・7.5A・50/60Hz ●重量 185Kg ●チェア部 コンタータイプ、昇降ラム方式、背板全駆動ギヤードモーター、メモリー付、自動復元装置付 ●高さ 420~720㎜ ●ワンタッチ給水取口付 ●ワンタッチエア取口付

¥3,508,000~¥3,978,000

*表示価格は消費税抜きの価格です。消費税は別途申し受けます。

楠 歯科医院

兵庫県津名郡東浦町久留麻1966-4



スマートで形も良く、GMと比べても全く違和感がない「スマイリーノーベル」。アフターケアの良いオサダの製品は安心して使ってもらえます。



淡路島・大磯港から風光明媚な海岸線に沿って車で約5分。静かな海辺の街に建つ楠歯科医院。お祖父様がこの地に開業されたのは大正10年といわれるから、既に71年の歴史を持つ歯科医家の名門である。

院長は卒業後、鶴見大学の保存科で講師として8年間を過ごし、昭和55年当地に戻りお父様と共に診療生活へ。3代目を引き継がれた。小児歯科医の妹さん（鶴見大学歯学部・第3回卒）と非常勤の矯正医を含めドクター15名、総勢18名という大所帯。「専門が保存ですので、特に歯周病に力を入れておりますが、開業医は中広く治療ができればならないので、総ての分野で専門医のレベルの治療ができればと思っております。そのため、勤務医も真に勉強をしたいと思います。一人の患者さんをゆつくり丁寧に治療したいのですが、公私共に時間ゆとりが一番欲しいですね。意欲的に学会発表や講演を行っており、大学以上の治療を目指しております、とキッパリ。真面目で誠実なお話し振りは患者さんにも好印象で迎えられることであろう。

◇ L字形に作られた診療室にはGMと並んで今年新発売された「スマイリーノーベル」S型が2台。「今回このスマイリーノーベルが新発売されたことのできる形もスマートだし、使いやすさなので、タービンヘッドにライト2本をつけて購入しましたが、使用感はGMと比べて全く違和感がなくいいですね。オサダのユニットは故障も少ないし、アフターケアも良いので、我々地方での開業医にとっては一番安心して使ってもらえます。」

院長 楠 雅博（東京医科歯科大学卒・43才）



SMILY NOBEL

スマイリーノーベル

L series

立位、座位診療は勿論のこと、
患者さんの着・退座時に
乗り降りのしやすい形態のL型ステップ付タイプです。
マニュアル操作で座面より90°に可動でき、
高齢化社会に不可欠な
診療ポジションが得られる
シンプルデザインで
機能性に優れています。



●仕様 ●仕様 ●電源 AC100V・7.5A・50/60Hz ●重量 195kg ●チェア部 L型ステップ付、昇降ラム方式、背板全駆動ギヤードモーター、メモリー付、自動
復元装置付 ●高さ 450~750% ●ワンタッチ給水取口付 ●ワンタッチエア取口付

¥3,508,000~¥3,978,000

*表示価格は消費税抜きの価格です。消費税は別途申し受けます。

大橋歯科クリニック

目黒区大橋2-16-23 大同ビル2階



常に研究心旺盛なオサダから、
形も色もスマートな雰囲気を持つ
〈スマイリーノール〉型を選びました。



院長

市川明彦 (東京歯科大学卒・61才)

市川弘道 (東京歯科大学卒・31才)

市川篤信 (東京歯科大学卒・26才)



新玉川線・池尻大橋駅から徒歩2〜3分。山手通りが国道246号につき当たった真正面のビルに、ご開業以来30年を迎えた大橋歯科クリニックがある。院長は東歯大の父兄会役員を10年、現在も歯科理工学の非常勤講師を勤めておられるというからご存知の先生方も多いことであろう。ご長男の弘道先生も同大学院を修了し、当院で既に4年。ご次男篤信先生も卒後同大矯正科に通いながら共に、と云う歯科医療一筋のご一家。振り返ってのご感想は「以前は分院を出したり、患者数が増えて夜も9時過ぎという程多忙な時期を過ごしましたが、2人の子供達も素直に無事育ちましたので、今は神に感謝しております。親子断絶をよく云われますが、やはり小さな頃から親子で行動し、歯科医師としての、真の姿を見せていくことが一番大切なのではないでしょうか」と院長。「医療の進歩を私や弟からもどんどん吸収し、常に新しい知識や治療法を採り入れようという意欲はすごいですね。医療にとって最も大切な、人との和。この道30年の経験にはまだまだかかいません」と弘道氏。将来は? 「専

門が理工学で、論文がキヤスタブル・セラミックスでしたのでこの方面を更に研究し、矯正医となる弟と共に歯科における審美性について考究していきたいと思っております。また高齢化社会に備え、現在もやっておりますが病院や訪問診療をもっと充実していくつもりです」。親子2代、医療とは何か、を真剣に考え取り組んでいる。次代の要求を確実に推進しつつある歯科医院である。

長い間に他社製品も使いましたが、オサダはアフターも良いし、機器に対して終始熱心です。その企業姿勢が好き」と院長。〈スマイリーノール〉は形も良いし、都会的な雰囲気も好きで選びました。Lタイプは足がしっかり着くことによってご老人などは落ち着くようですね。義歯調整も真正面から排列が見られ。ユニットのトップクラスを行くのがわかりますよ」とうれしいお話しは弘道先生から。

オサダの商品
〈お元気ですか〉

箕浦歯科医院

東京都北区西ヶ原1-49-15

院長 箕浦芳美

副院長 箕浦孝昭

駒込駅から5～6分。霜降橋の広い交差点を左に折れ、1本入った静かな住宅街に建つ箕浦歯科医院。茶色のタイル貼り、3階建の落ち着いた外観は、3代に亘って地域住民の為に奉仕して来た風格を感じさせる。

待合室に掲げられている、都・区から贈られた各種の感謝状や表彰状が、当院の歯科医療にける姿勢や方針、又歩みの道程を物語っていた。

診察室は、窓に沿って、くスマイリーN 2台、くGM 1台、そしてくコンビ700 1台が、日本庭園

に向かって置かれている。この都会のど真ん中、簡易庭園ながら緑の木々は患者さんにとって、さぞホッとする雰囲気となる。

オサダ50周年記念号にもご登場頂いたが、以来7年余、院長の芳美先生はご覧のように全く変わらない。が当時日歯大5年生であられたご子息・孝昭氏は今や院長の片腕としてなくてはならない存在。月水土を当院で、火金を院長の後輩にあられる神楽坂の医院の責任者として大活躍のご様子。また当時日歯大3年生だったご次男・雄介氏は母校日歯大に残り矯正の勉強を既に3年余り続けられておられるという。歯科医業一筋のご一家である。

順風満帆、故初代院長・孝雄氏の云われた「町医者には地域の住民すべてに公平であるべきで、医師が相手によって患者を選ぶべきではない、来院者は総て診る」といわれた言葉がそのまま受け継がれている、の感を深くする。亡くなられたお父様もさぞご本望なことであろう。

「このコンビ・ユニットは立位主体で教育を受けた父が、寝かせて診るのは不便だ、ということと15年前に買い、同時に私は当時売り出された立・座位自由なスマイリーNを買ったんです。双方共新品同様きれいでしょう。やはり口に入れるものですし、患者さんの気持ちを考えれば、機器類は常に清潔にしてお



くべきだと思いますね。コンビは、今は東京歯科衛生専門学校の実習生が2人来ておりますので、その方達が実習に使っております。そろそろ取り替えかな、と考えているんですが(笑)。息子のはもっぱらスマイリーGM専門に使っております。オサダはアフターケアがしっかりとっておりますし、故障も少ないので、安心していられますよ」とうれいなお話。お二人での治療、親子断絶は——院長「医療は日進月歩、年輪的に負担は大きいのですが(笑)、常に学んで行く努力が最も大切だと思っています。息子のやり

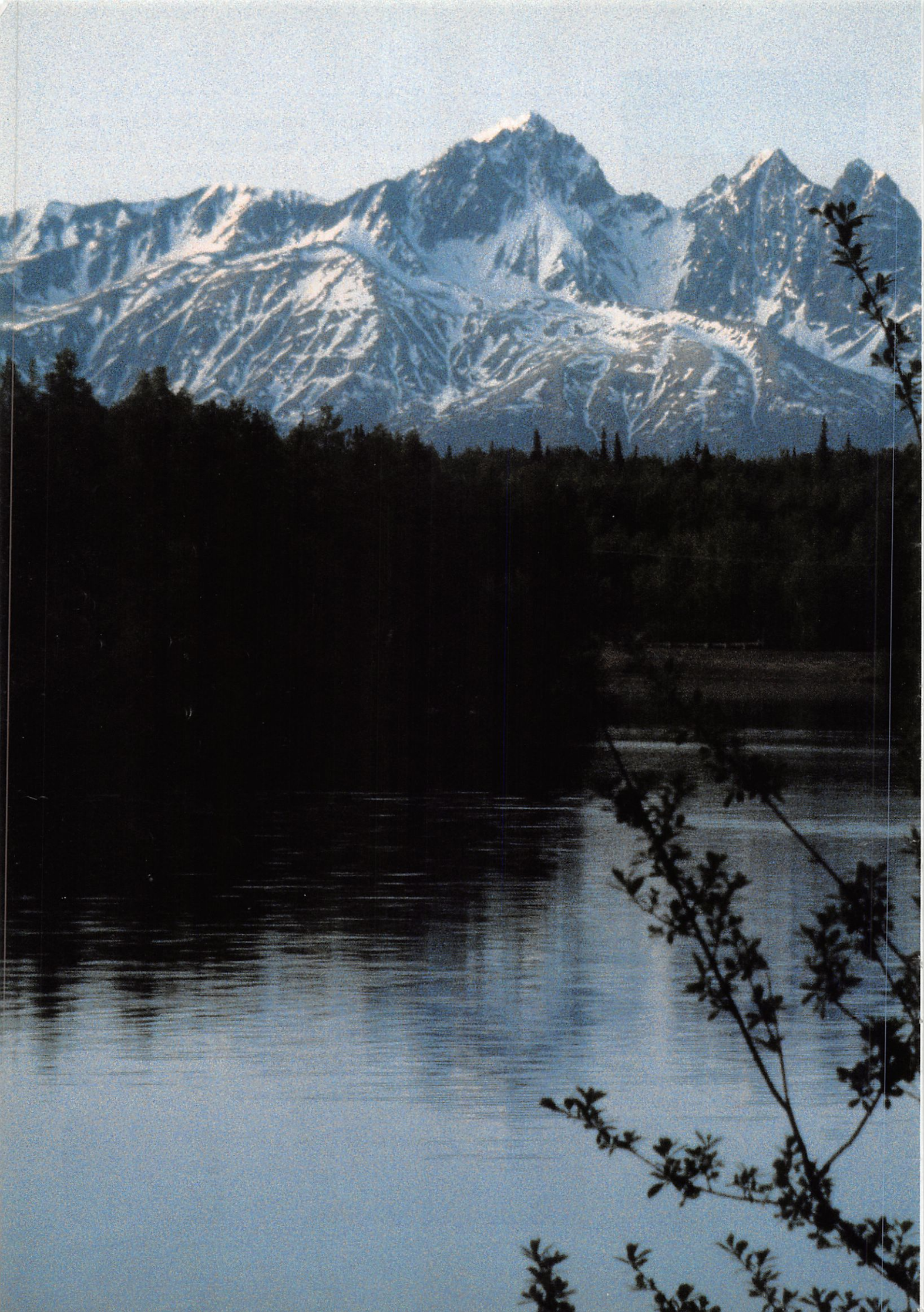
方を見て、今の治療法を素直に受入れると共に、父から教わった良いところを加味して治療する方針でやっているつもりです。副院長「友達とも色々話しをするんですが、うちの親父はやりやすい方なんじゃないですか(笑)。お互いに結構譲り合っていますね(笑)。父から学ぶことが多いことは、やはり患者さんとの接し方ですね。特に口・歯以外のところを診ていて相談にのる。これは今後隣接医学が大切といわれておりますが、長年の経験や知識が必要で、最も学ぶべきところだと思っております」。院長——「当院は患者さんの25%ぐらいが老人で、他に疾病がある方が多いのです。歯の治療をしても脈搏はわかりますし、唇や血色からおよその健康状態はわかります。治療しながら話しをし、場合によっては



病院を紹介することになっています」。将来は「弟が矯正専門医でするので、お互いに連携を取り合いながら、診療の巾を広げて行けたら、と思っております」。「私と長男は一般歯科ですから、次男のやり方には口をはさめないでしょ。私もその説明を傍らで聞いていて、自分の患者さんの悩みに応えることが出来ます。今は月1回、専門の先生と共に当院でやっておりますが、私にとっても良い勉強になりますね」。院長は元社会保険の審査員をやらせておられましたが、いまの保険制度については？「難しいですね—

(笑)。現在東京都の保険収入は月平均230万円です。借りにビルでもし借金を背負っていたら、とてもやってはいけません。技工士さんの為にも、特に補綴の料金のアップを切実に望みますね。手抜きをしないで、キチンとした診療こそが信頼の源、長く続けられる秘訣であると思いますが、そう思えば思うほど…、一日も早い改善を痛切に感じます」。「でもとにかくこの仕事が好きです。休日が苦痛に感じるんですよ」と院長。「うらやましいな—。働き通しの親父をみると僕の方が困るんですよ。そこまで行くのはまだまだ先みたいだし…」と副院長。お二人の和やかで、信頼し合っている雰囲気が伝わって来る。帰り際みた待合室にはギッシリと患者さんが午後からの治療を待っていた。





アメリカ 「最後のフロンティア」 アラスカ(その1)

はじめに

私は、1963年にボストン大学を卒業すると共に、ニューヨークのビジネス社会の人間となった。以来、日米間を年に数度行き来する身となり、東京—ニューヨーク直通便が開発される迄の10数年間、2時間の給油の為、アンカレッジに何10回立ち寄ったことだろう。

一度、風邪で38度の熱のまま東京を発って、アンカレッジで機長が「永点下70度なので、そのままお待ち下さい」と云うのを聞いて、途端に風邪のことなど忘れてしまい、ひどい目にあったことを思い出す。そんな、記録的極寒なら、是非その空気にふれてみたいと、外に出たのだ。外の空気を吸った瞬間の印象は、冷い、などというのではなく、まるで灼熱のナイフで肺を切り裂かれる感じだった。

そしてニューヨークに着いて難聴となった。目の前で鳴っている電話のベルも、まるで深海の底から伝わるかすかな響となった。

医者に行ったら、レントゲンで各種テストのあとで、「貴女の左耳の内耳の骨は、ほれ、かくの如く溶けています。それなのに、それだけの聴力があるのが不思議な位。何時でも手術出来る状態です。やりますか?」となった。

冗談じゃない。内耳の骨の状態は、私が赤ん坊時代にしたというひどい中耳炎の後遺症に他ならない。何を今更——。

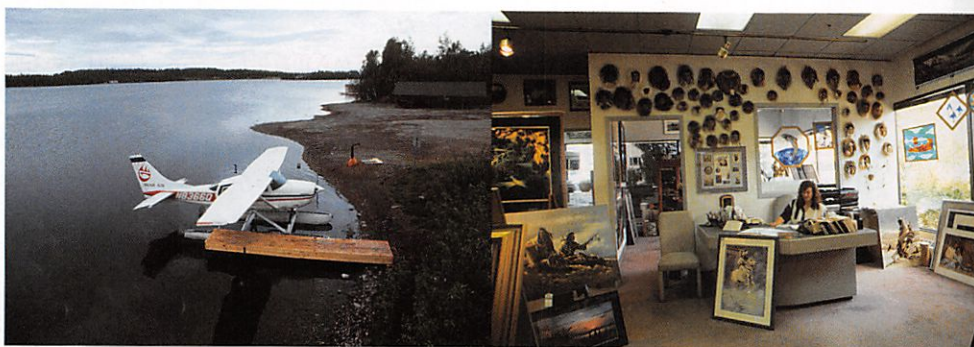
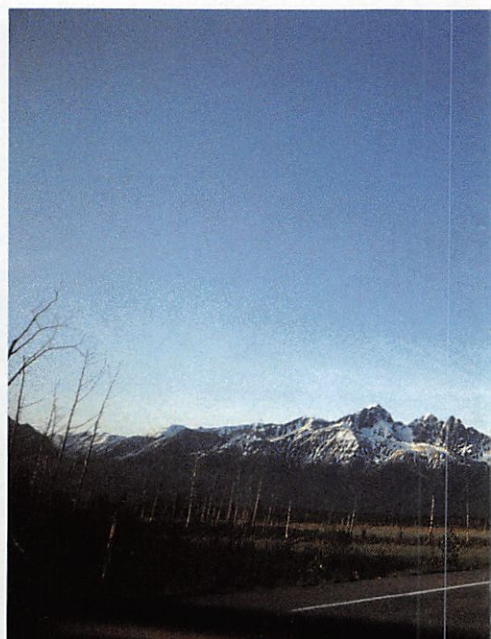
「そうですねえ」と、医者の方も呑気なもので、「貴女の中の『眠れる獅子』が目覚めたなら、やることにしましょう」。どの様にして私は『眠れる獅子』が目覚めたことを知るのかと聞いたら、「オーオー、それは簡単、すぐ気付きます。めまいがし、どんなに努力しても

真直ぐ歩けなくなります」、という返事だった。

あれから10数年たったが、私は目まいも頭痛もなく、何の苦もなく真直ぐ歩いている。しかしこの10数年、一度正式にアラスカに行ってみたく、という気持を抱いていた。「アラスカ」との最初の出会いで、平手打を喰らった印象をもったらしい。

だから、世界最古で最大の米国歯科医師協会(ADA)の新会長が初めて女性となった、しかもこのモーロー女医の基盤はアラスカで、会長着任後も従来通り、先住民のエスキモーやインディアン人の辺鄙な村での治療を続けている、と聞いて、この私は矢も楯もたまらなくなった。2人乗りの小型機の胴体に治療椅子や発動機をしばりつけて、ツンドラの堀っ建て小屋の床でスリーピング・バッグにもぐり込んで寝るという、このADA会長のアラスカ現場での活躍ぶりの取材が、私の執念となった。

ところがこの61才のモーロー女医、アラスカだワシントンだと飛び廻っていて、ADA本部の会長の席にいたためしがない。そのバイタリティーは素晴らしいことだが記事のメ切は迫るし、とうとうアラスカ州知事に「御助力乞う」と連絡し、私のアラスカ取材が具体化した。モーロー女医とのスケジュール調整は不可能だったが、彼女が長年働いていたアンカレッジのネイティブ公衆衛生サービスの歯科主任 D. ジョーンズ医が彼女のことを良く知っているというし、「上院議員で歯科医がいますが」と聞くに及んで、私のアラスカ行きは決定した。



アラスカの横顔

面積が米国全土の五分之一あるアラスカが、正式にアメリカ合衆国の49番目の州となったのは1959年の1月3日である。イギリス、スペイン、デンマークの業者や冒険家たちも多かったが、ラッコその他の毛皮取引をビジネスとするロシア人の勢力が一番強く、長く続いた。今回行って感じたことのひとつは、アラスカの人達にとって、今でもロシアは心境的に近い存在ということだった。

この膨大な土地が正式にアメリカ領土となったのは1867年の10月18日である。ラッコ商売が下火になって、アラスカに関心が薄くなったロシアから、時の米国务大臣のウィリアム H. シーワールドが、720万ドルで購入。ということは、1エーカー（1万1200坪）に付、何と2セントという途方もない馬鹿げた値段である。素晴らしい買物となったわけだが、当時のアメリカ人はこの地球の果ての、得体の知れない極寒の土地にとんと関心がなく、アラスカのことを、「シーワールドの^{フォーリ}愚行」、「シーワールドの^{アイス・ボックス}冷蔵庫」と仇名して笑い話とし

た。

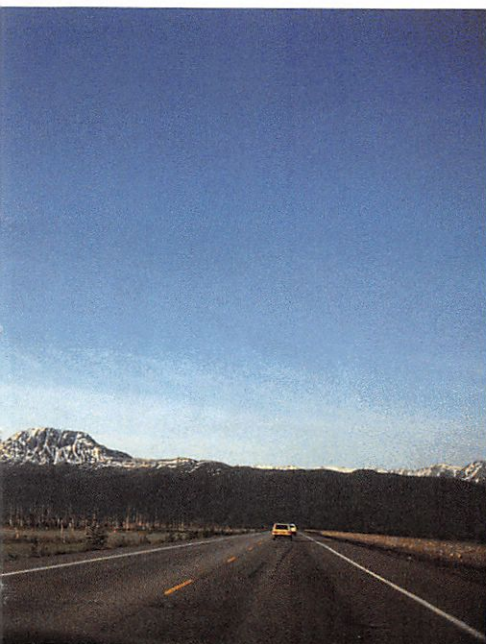
1990年の国勢調査に依ると、アラスカの人口は55万と43人で、うち先住人はその15.6%となっている。平均年齢は若く29.4才だ。

アラスカの収入の90%は石油からで、他の天然資源はガス、魚貝類、森林、各種鉱物となっている。日本はアラスカのトップ輸出国で、1990年の総輸出額は24億ドル。対日シーフードは32%の伸びで12億ドル。アラスカのシーフード総輸出額が15億ドルであるから、その殆んどが日本向けというわけだ。同じく殆んどが日本向けなのは、森林資源の材木や丸太となっている。日本に次ぐ輸出国は、韓国、そして台湾だそう。

「アメリカの最後のフロンティア」と云われるだけあって、此处では自然がいまだに君臨し、又とてつもない自然が存在する。米国最北端、北極から800マイル地点にあるパーローでは、5月10日に太陽があがると、3ヶ月近く沈まない。そして11月18日に日が沈むと、今度は2ヶ月以上太陽なし、つまり夜の世界となる。

私がアンカレッジに着いたのは、夜の10時半だったが、まだまるで日中という感じだった。日が沈むのは夜半で、午前4時には夜明けである。長年の不規則な生活で、日米間を往復しても、私はもう時差を感じない人間となっているが、今回はニューヨークに戻って2日程、体内の時計が狂ったことを意識した。日本でもアメリカでも、夜半は真つ暗ときまっている。アラスカでは、腕時計が夜半といっても外はまだ薄明るい。初めての体験なので、私の脳の回線が混乱したものと思われる。

アラスカの自然で最も印象的なのは、やはり偉大な山々の姿であろう。全米20の最高峰のうち、その17が此処に存在する。北アメリカで一番高いマッケンレーのことを、インディアンは簡単に「テナリ(ザ・グレイト・ワン)」と呼ぶ。私がアンカレッジに向ってアラスカ上空を飛んでいた時、カナダ登山家4人がマッケンレーの頂上近くから墜落、死亡した。今年になってこの最高峰で既に11人の登山家が命を落しており、1932年来の最悪の年



昔の学校

(上写真)当時の歯科室
(下写真)Page Museum

となっている。ちなみに、1932年から現在迄に、マッケンレーで命を落した人の数は75人にのぼる。

他にも、私の滞在中に、記録に残る出来事が発生した。ひとつは、77年の歴史を持つアンカレッジ・タイムズ紙が、6月3日付で廃刊になったこと。月に80万ドルの赤字で、既に1000万ドル損失したオーナーのビル・アレンが、ライバルのデイリー・ニュース紙に売り渡したからだ。彼はエクソンの石油流出の後始末を請負ったヴェコ・インターナショナルの経営者で、この仕事で大儲けしたお金でアンカレッジ・タイムズ紙を購入した人間である。

もうひとつの出来事は、6月2日の油田開発調査向け借地権セールに、入札者が皆無だったこと。これは州の歴史で初めてのことであった。これは、年に依っては9億ドルの収入をアラスカにもたらした借地権向けオイル・マネーが急減している事実を裏づけるものであり、アラスカの天然資源をめぐって、各界の利益団体と先住民の闘争・対決がやが

て酷となることを意味していよう。

ちなみに、6月2日という日は、米議会が全てのインディアンに米国民権を与えた記念日だ。1924年のことである。

書き出すときりがないので、この辺で取材に応じてくれた人達に話題を移したい。

Dr. David Jones

Alaska Area Native Health Services

彼はこの地域のデンタル・サービス分野の主任で、1977年以来アンカレッジ在住だが、過去25年、アラスカを出たり入ったりしてきたアラスカのネイティブ・パブリック・ヘルスのベテランだ。

彼には主としてエスキモーについて話して貰ったが、その内容は驚く程米南西部のインディアン事情と酷似していた。「白人の食餌(精製された食品、ソフト・ドリンク)」が入り込んで以来、エスキモー人の歯周病の問題が急増。更にあらゆる種類の癌、事故、自殺が異常なスピードで増加しているという。特に女性の癌となると、全米女性のかかる平均率

Alaska

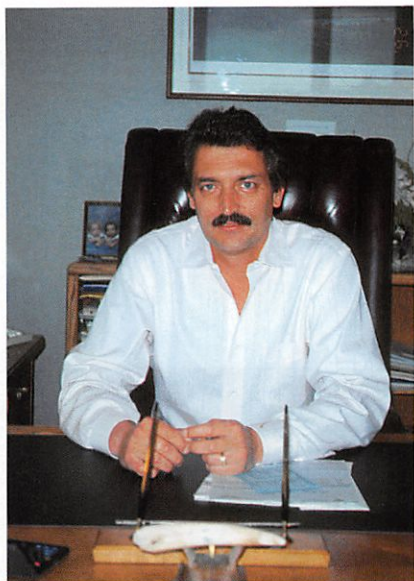


取材でお世話になった人々

の何と3倍だそう。ジョーンズ医は、タバコがその主な原因という。特にチューイング・タバコの習慣はエスキモー特有といえる程で、3才位の子供でもむずがると、母親はアメ玉を与える感覚でチューイング・タバコを与えるという。だから10才前の子供でも煙草をふかすようになるのは稀でないようだ。

内陸のインディアンより、海岸沿いに居住するエスキモーの方が、白人から受けた影響が強い模様だ。エスキモー部落周辺の雑貨店の儲けの50~70%は、キャンデーとソフト・ドリンクからという。昔、クジラなどを猟して暮らしていたエスキモー社会に通貨は不要だった。しかし通貨経済と切替った現在では、もう白人社会の生活スタイルの侵入を防ぐことは出来ない。

モータースクーター、スノーモービルの酔っぱらい運転、水死に依る事故、そして増える若者の自殺、と暗い話が多いのは、ひとことと言うと彼らの生活様式、つまり文化の破壊が原因であるのは明らかだ。せっかく高校を卒業しても職が無く、することがない。そ



アラスカ州歯科医師会会長
Dr. Robert W. Robinson



アラスカ・エリア・ネイティブ・ヘルス・サービス



Alaska Native Medical Center

れてお酒を飲みだし、やがて気の減入る生活の繰返しとなり、自殺となる。一人が自殺すると、同伴するように数人が後に続くケースが見られるという。

何とかせねば、という意識が、エスキモーの長老達と米政府・各機関の両方にあるが、事態改善はカタツムリの歩みの如くのろい。ひとことで言うと、教育が唯一の救いの道と思われる。しかしそれは、教育機関自身の教育から始める必要があった。白人社会のルールで設置された学校では、英語を強制し、エスキモー語を禁じたので、それもエスキモー文化破壊を大きく促進することとなった。その非に気付いて、今ではエスキモー語とその文化を教材に取り入れている。一方、大学卒のエスキモーもぼつぼつ育ってきて、たとえばこのネイティブ公衆衛生サービスでも、事務関係で数人が働いており、その人達がロール・モデルとなってくれるよう期待されている。連邦政府は、エスキモーの専門家育成に力を入れており、各種奨学金プログラムも提

供しているようだ。

意図するところは、エスキモーの「セルフ・ヘルプ(自救行為)」、そして自主決定の奨励である。ジョーンズ医は、「アラスカは、このセルフ・ヘルプ・プログラムでは全米一です」と誇りやかだ。アラスカの公衆衛生プログラムの中、2件だけはまだ連邦政府に依るが、今や10件はエスキモー委員会で運営されているという。私が先に取材したニュー・メキシコの公衆衛生は、「いまだにみな連邦政府に依ります」と、とジョーンズ医は胸をはった。

エスキモーの自主決定がすすむのは素晴らしいことだ。しかし私は気掛りだ。オイル・マネーの減少で、州政府はハンティングやフィッシングを奨励し、観光ビジネスその他の開発に力を入れる趣を示している。破壊が進み、多くの問題を抱えることとなったエスキモー社会は、これ以上自分達の生活様式をおびやかす州の方針に反対と聞く。つまり衝突はまぬがれない。エスキモーの自主決定能力

が進めば進むほど、この衝突は激しいものとなるだろう。

ひとことで言うと、これがデモクラシーの真の姿勢なのだ。自由経済の姿でもある。話がとぶが、最近日本で増加してきたセクハラ訴訟の暗示するものは、日本女性の自救行為に関する意識の向上と思う。置きかえてみると、日本男性グループはアラスカ州政府、女性達はエスキモー人口、といえよう。原点は「デモクラシー」。デモクラシーの国、という旗をかける以上、州政府が避けて先に進めない道であることは確かだ。

エスキモーの歯科事情に移ろう。状態は相当改善されたとはいえ、まだまだ、特に若い人達については問題が多い。全米のプアーライン以下に貧しいエスキモー達なので、歯のヘルスを心配する前に、食べ物その他と沢山心配することがあるからだ。そして地理的に辺鄙な部落なので、治療に出かける歯科医が不足、という現状だ。ジョーンズ医のデンタル・サービス管轄下に21程の部落があり、各

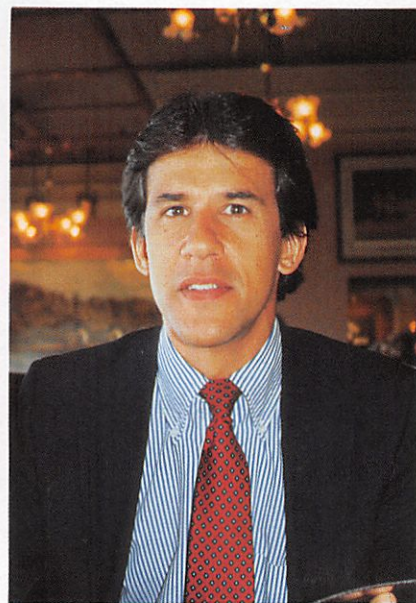
Alaska Area Native Health Services



Dr. David Jones



Dr. Ron Fink(小児歯科室)



アラスカ州政府の日本交渉窓口
Mr. Bennet W. Brooks

歯科医は年に4~14週間、部落に向いて治療に当る。

ここでモーロー女医の話となった。彼女も此処で働いていたことは先に述べた。彼女について、ジョーンズ医がまず云ったことは、「ユニークな人だ」、である。組織化能力やワシントンとのロビー活動にも秀れ、ヘルス・ケア・プログラムの絶対的支援者で……、つまり、この分野の「大変な財産」の人間だ。

今彼女は、連邦政府のインфекション・コントロール規定があまりにも厳しく、その実行にあまりにも時間と経費がかかり過ぎるので、この規定緩和のロビー活動中という。

彼女のロビー活動のお蔭で、アラスカのネイティブ公衆衛生サービスは、予算が追加され、「経済的に、新しい歯科医の(此処に来る)動機づけとなります」と彼が云うのを聞いた途端、私にひとつのアイデアが閃いた。

日本によせる熱い期待

それは、日本からの「デンタル・ピースコプ 歯科平和部隊」の派

遣、というアイデアである。初めジョーンズ医はビックリしたが、すぐ、大変乗り気となった。ボランティアなら、アメリカのライセンス無しでOKだ。公衆衛生のアメリカ歯科医監督下、という形式をとれば問題ない。但し、英語が出来なければならないが——、と発展した。

このアイデアは、次々と会った人達にもぶつけてみたが、皆、大手を広げて観迎する。但し、その過程で、私のアイデアは少しずつ変形した。コンセプトは同じでも、「平和部隊」という名称はひとまず伏せて、多方面の日本人——特に若い人達と、「功成り名遂げた」というと大きさかも知れないが、子育ても終り、生活も安定しているが、何か物足らず、何か世の中の改善につながるプロジェクトにかんてみたい、という意識を持つ世代の人達——に、「アラスカの辺鄙な部落で、一週間でもネイティブと生活を共にしてみませんか?」と呼びかけるやり方である。

冒険をしたい若者、歯科医でなくても何か

特殊技術を持っている人、又は単に異民族の文化に触れてみたい人、更にボランティアとして、2ヶ月でも、6ヶ月でもアラスカで働いてみたい人、が参加し易くなるように呼びかけることである。

こういった活動を通して、国際社会で問題にされる日本人の閉鎖性が少しづつでも改善されるようになるのではないだろうか? 日本政府・地方各団体で、こういう目的を持つボランティア活動に少しでも奨励資金を出してくれるところは無いものだろうか?

こういう話となると、私は何故こうものめり込んでしまうのだろうか?

多分それは、「世界の中の日本」としての日本の将来を気に掛けて生きてきた人間の想いが、この私を駆り立てるのだと思う。

(以下次号)

筆者紹介

岩本蘭子

ポストン大学大学院ジャーナリズム科卒業
ランコインターナショナル社長

Z O O M ち C L O S E - U P



大畑 昇先生 の巻

北海道大学歯学部歯科補綴学
第二講座助教授

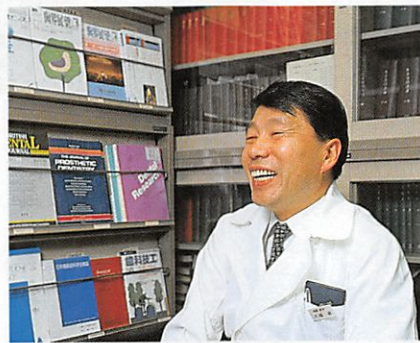
非常に勉強熱心で、今後の歯科医療界を背負って立つであろう若手のホープの一人をご紹介します。とのことで、前号ご紹介の染谷成一郎先生のリレーにより、北大歯学部で大畑昇先生をお訪ねした。

「染谷先生とお知り合いになれたのは、たまたま私の論文がある雑誌に載ったのをご覧になった先生が手紙をくれたのが最初のキッカケです。内容の詳細と根拠等のコピーをお送りしましたところ、再度先生から、小荷物となって種々の文献が送られて来ました。私の恩師である当大学の内山(洋一)教授の先輩で、度々雑誌等で論文や寄稿文を読みお前は知っていたのですが、あの素晴らしい先生から…。大感激しましたね、と同時に先生の歯科医療にかける情熱には頭の下がる思いでした。その後当大学において頂き教えを乞うたり、先生が相談役をされている歯科雑誌の研究グループに加えて頂いたりして、先生の謙虚で温かな人となりを知り、増々の感を深くしました。教授(内山)曰く”お前みたいなはね返りは、先生をよく知ってもっと謙虚になれ!”と(笑)。当時のメンバーが毎年集まる会があるのですが、今からたのしみなんですよ。」

お生まれは東京・赤坂。開業医の次男として育ち、当然の如くこの道へ。「九大と北大に願書を出したのですが、北大の返信封筒に速達切手が貼ってあったことから、何故か“北大が僕を呼んでいる”気がしましてね(笑)…。気候、風土、人間性等撞れていた通りの環境で…。25年近く過ぎてしまいました」。ちなみにご実家の後を継がれているご長男、ご長女は東京医科歯科大学卒という秀才一家。「いやー。兄貴は優秀だったがお前はダメだなあって内山教授にはよく云われたんですよ。兄貴が大学に残り、勉強嫌いな私が実家を継ぐ予定が、父が倒れたため急遽変更。逆になってしまいました」と笑われる。誠実で柔和、ユーモアのあるお話し振りは、教授の云われる、はねっ返り気質にはほど遠い印象。補綴学の将来は? 「私は保存と補綴は歯科の基本だと考えております。当大学でもインプラン



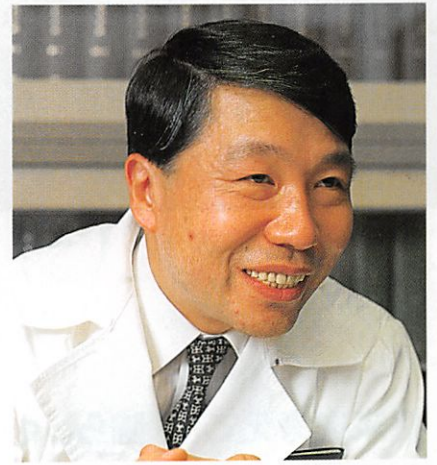
トをやっておりますが、口腔外科と補綴の2つの科が主体となり、1人の患者さんにアプローチする。私達はチーム・アプローチと呼んでいるのですが…。口腔外科、形成外科、矯正、保存、補綴等それぞれの医師が患者さんの症状を各専門分野の目で検討し、口腔の健康をいかに保全しながらトータルな治療に持って行くか考えて行。私自身今は勉強の最中ですが、インプラントの除去は、原発の解体みたいなもので(笑)、問題は施術した物を、いつどの時点ではずすか、だと思っております。その場合は当然口腔外科の知識・協力も必要ですし、その責任感や技術もない人はやるべきではない、と思っております。内山教授も云われておりますが、“私達の世代ではなく、結果は次の世代に表れる。現時点の目的を明確にし、やったこと(手術)の責任を自分でとれるならやってみる。医師であるなら、その良否は自分で考えろ”なんです。難しい



ですよね(笑)。「和して同ぜず」という言葉がありますが、自分が知らないし、やったこともないのに反対意見はいえません。学会でも堂々と云えるだけの経験と知識を持って、はじめて述べる事が出来ると思、年3~4例ですが、やっております。「時々、大学における歯学部とは? 補綴とは? を考えるのですが…。もし国の将来に最も必要な学部なら、東大、京大にも出来る筈。そうしたことから、歯科はあくまでも地域医療、地域住民の要望があってこそその歯学部だと思、うのです。国際交流が盛んになり、それは良いことだと思、うのですが、その場合でも単なるアメリカの受け売りで良いものなのか、日本には日本人の進むべき道があるのではないかと考えるのです。インプラントにしても、確かに効率的な方法かも知れませんが、それが地域住民やその患者さんに本当に必要なものかどうか。将来までを含めて真剣に



検討されるべきことだと思、うのです。当大学はご存知のように札幌農学校から発展して来た学校ですが、歯科は農業と同じ全業だと思、うのです。手仕事=技術、だからこそ患者さんとの信頼関係が深くなるのではないでしようか。現状下を考える時、口腔外科・矯正以外は専門化の必要は全くないと思、うのです。先にチーム・アプローチと云いましたが、今は患者さんが各科を回っているのが現状。しかしそれは違、うと思、うのです。1人の患者さんを歯科医師が取り巻いて、その集まりの場から聞くべきだと思、うのです。シンドイ仕事ですが、その方向を目指してシステム作りをやっている最中です。私の考えは少し、学生っぽいかな、と笑われるが、いま日本の歯科教育、医療方向は大きな転換期を迎えてい



る。真剣に純粋に、多方面から問題を提起し、果敢に実践する勇気が次代の為、に最も大切なものではあるまいか。大畑先生から頂いた北大が生んだ2人の偉人の言葉「興国的精神を持たない国民は、その国の地理的位置がどんなに良、くても滅びる。興国的精神とは真理への畏敬であり、真理を守るための道徳的勇気である。国家より真理を重んずる精神である。これこそ真の意味の『謙遜』である。謙遜なき国家は興隆しない」——内村鑑三。又、新渡戸稲造は「農業本論」の中で、「農の範囲を定めようと思、えばまず農の『意』、すなわち目的・精神を定めねばならない。(中略)したがって農学者は一応社会の事情を知り、農民の位置と心理を究め、法律も研究したい。要はいかなる学もみな農産の優良と農家の幸福を助とするためである。」「農」を「歯」と置き換えればピタリと来る言葉。染谷先生のおっしゃる次代のホープ。期待を担、う、43才である。





将来を考えて、医院らしく ない医院、 そのイメージを 大切に作り上げました。

上越新幹線高崎駅から両毛線に乗り換えおよそ25分。伊勢崎駅から商店街を抜け、車で10分程走ると、辺りは真新しい新興住宅街に変貌するが、埋立て地と違って木々の緑も充分で、爽やかな印象だ。

その一角に昨年末ご開業したばかりの藤歯科がある。薄茶色の堂々とした3階建のビルの外観からは、写真でもおわかりのように小柄でチャーミング、今年31才になったばかりの独身の女性歯科医が主(あるじ)とはとても思えない。が、お話をお聞きしていく間に、ひかえ目ながら芯の強い、目的意識をしっかり持たれた女医さんのイメージが伝わって来た。

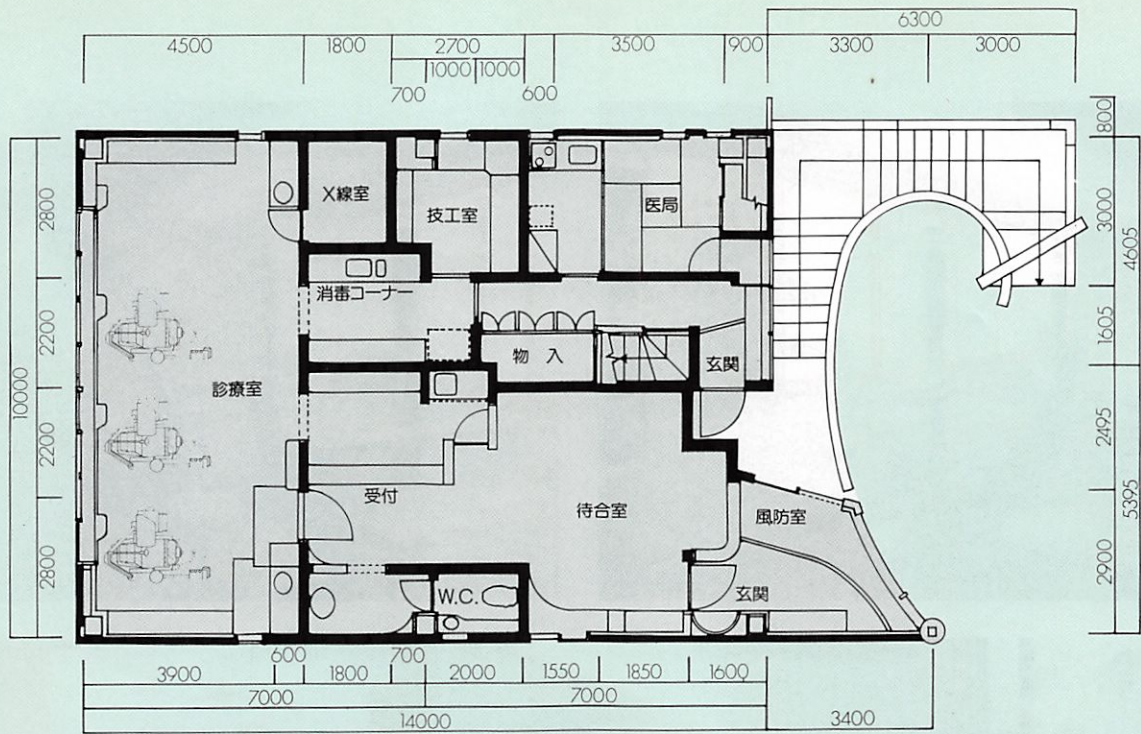
建物・内部をざっとご紹介すると…。1Fは吹き抜けの駐車場、側面からコの字型の階

DENTAL
SPACE
藤 歯科
群馬県伊勢崎市大字茂呂4094-10
院長 藤生貴子

段を上ると風防室兼玄関入口。床面までのガラス窓を通して大きな動物のぬいぐるみが、道路に向かって置かれている。ひと目でここは女医による診療所とわかる演出だ。木目の2ツ目のドアを開けて待合室へ。広い空間に薄紫の厚めのジュタン。椅子は壁面に沿って6〜7脚のみ。これなら座っても、少々子供が騒いで転がっても全く危なくない。木目と黒と白に近い淡い紫色の壁と天井。しっとりと落ち着いた、待合室というよりも趣味の良い応接室という感じである。1間巾程あるかと思われるやや広めの通路から診療室へ。側面はオープン式の下台のみの受付台。傍らに簡単な“茶コーナー”が取り付けられている。先生のお話しによると、将来は1人1人の患者さんにお茶をさしあげ、歯だけに限ら

ず、身体全体——心の病をもゆっくり聞いてあげる、住民と共に生きる医者になっていきたいとの願いから設けました、とのこと。確かに現在は、良否は別にして、言葉・態度等、医者は一段上にいる、という雰囲気があり、従って患者も自身の苦痛を素直に訴えることが出来ない。それが陰に回って、あそこの医院でお金をいくら取られたという嫌な表現の一端につながっているような気がする。地域に密着した先生の“茶心の精神”が、将来“助けてもらった、治して下さい”という感謝の表現にまで高まれば…。と当方も願うと同時にこれからの先生の医療にかける情熱をかい間見た気がする。

ちょっと横道にそれたが、その通路を通って診療室へ。診療室のドアを開けると、下に薄い大理石の長方形の石が置かれ、患者さんはここで初めてスリッパを履き診療台へと向かう。室内は細い木目の床に待合室同様淡い紫の壁・天井。並列にならんだフル装備の濃淡グレーのスマイリー〈ファインL型〉が3台窓に向かって設置されている。ユニット前



- 設計・施工：JO設計
- 開業：平成3年12月 ■スペース：約148㎡(約45坪)
- ユニット：スマイリー<ファインL型>3台
- 診療時間：9:00～13:00、14:30～18:30、木曜・土曜17:00迄、(休日)日曜・祝祭日
- スタッフ構成：歯科医師1名、衛生士3名、助手1名
- 患者数：1日30名前後



院長：藤生貴子先生

面は障子貼りになっているため、屈折した淡い光が室内全体を和らげ落ち着いた雰囲気をも出している。その下に小さな4半円状の木目の簡易物置が各ユニットごとに取り付けられ、更に仕切りの空間には黒のオブジェ風の円筒、中間部に穴をあけ、中に生け花が置かれている。やさしさと落ち着きとモダンさ…。欲張った(?)ムード作りだが、それが見事に調和し、先生の願う未来の医療へとつながっているようだ。

院長は昭和160年、昭和大学歯学部をご卒業。卒後は大学病院で6年間研修生活を。その後半年間都内で勤務医をされ、昨年生まれ故郷、桐生にほど近いここ伊勢崎市に開業。第一歩を踏み出されたばかりのファイト溢れる若き女医さんである。

Q：素晴らしい医院ですね。設計意図は先程お聞きしましたが土地建物は先生の独力で？

院長：いいえ(笑)。実家が以前から持っていた土地に、建物も父からの借用です。実

際の設計は父の知り合いの設計士さんと山岸さん(オサダ代行店)とオサダさん等、皆さんが私の診療意図を汲み上げて相談し、作り上げてくれました。

Q：ご留意された点は？

院長：待合室は子供さん用にプレイコーナーを設けようと思ったのですが、区切ると逆に狭苦しい感じになりますので、寝ころがっても遊べるように厚めのじゅうたんを敷き、広々とした1つの空間にしました。スリッパはどうしても雑然としがちになりますから、診療室内のみとし、“医院らしくない医院のイメージ”、それを前面に出したいと思いました。

Q：ではすべてに満足(笑)？

院長：ええ、ほとんど云うことはありません。ただ、受付内部、ここは大きく取ったつもりですが、コンピューター等の機器が思っていたより大きくて、ちょっと手狭になってしまいました。それぐらいですね(笑)。

Q：お茶コーナー。ご利用度は？

院長：歯を通して心身の健康を患者さんと共に考えて行きたい。それにはゆっくり時間をかけて、いま盛んに云われておりますが、インフォームド・コンセント、それを大切に思い設けましたが、まだ始めたばかりで人手と患者数、又(お茶を)出す人と出さない人があってはいけないと…。まだ実施はしておりませんが、落ち着いて来たらそうした方向に少しでも持って行きたいと思っております。

Q：患者層は？都会での診療生活が長かつ





たご様子。ギャップは感じますか？

院長：この辺りは郊外住宅地でサラリーマンやその家族の方が多く、ギャップはあまり感じませんね。大学病院でしたので患者層も色々な方を診て来ましたし…。ただ専門が補綴でしたので、子供さんの経験はほんの少して、初めは戸惑いました(笑)。

Q：女医を志されたのは？

院長：はじめはカッコいい外科医を、と思いましたが(笑)、大変なようでしたから歯科医に進路変更(笑)。両親が小さな時からそのような環境、道をつけてくれましたので無事進んで来れました。今は良かったと感謝しております。

Q：ご実家の近くの方が紹介も多いし楽、と思われませんでしたか？

院長：やはり自力で自分を信じてくれる患者さんを少しずつでも作って行きたい、との思いが強く…。でも親としてはちょっと淋しいかな(笑)。好きな様に自分の道を歩んで行きなさい、と許してくれました。まだ始めたばかりですが、お陰様で順調なすべり出し、ホッとしております。

Q：女医としてのメリット、デメリットは？

院長：大学病院時代は男女差は全くありませんから、意識したことはありませんね。開業後は、患者さんは、女医さんだからたぶんやさしいのでは、と期待して来られるようですが…。ハイ！期待に応えるべくやって行きたいと思っております(笑)。

Q：オサダのスマイリー〈ファイン〉いかがですか？

院長：大学時代は各社の製品を使ったようですが、学生ですのでユニットを特に意識したことはありませんでした。ファインは、値段はちょっと高かったのですが、実際に使ってみてこれが最も使いやすかったので思い切って…。私はやらないのですが、掃除も簡単で楽なようですし、スタッフの方々も助かっているのではないのでしょうか。全く問題はありません。

Q：開業されていま感じられていることは？

院長：大学や勤務医時代と違って、全部自分の責任ですから大変な面もありますが、近頃「開業っていいものだな」って感じるようになって来ました。ご近所の方々から、治してもらって良かった、という一言。この反応、言葉が直接はね返って来る喜び…。この気持を大切に10年、20年先を考えながら頑張っていきたいと思っております。

〈設計・施工にあたって〉

建築へのスタンス

創作物は、そこに携わる人の心の表現であり、建築も同様、施主の全体像、及び設計者の内面の風景を設計図として生み出し、それを基に、施工者が現実創って行くものであります。しかし、建築は、様々な条件を受け易く、純粋な創作物にはなかなか成りにくい要素を持っております。

明治以来、中でも昭和の経済的繁栄に沿って、その作り方のひどさは、目にあまるものがあり、本質を見失ない、刹那的に作られて



しまう傾向にあると云わざるをえません。その発想の結果として、今や至るところで、環境破壊を引き起こし、日常生活そのものを脅かしているのが現状であります。物を見つめる「眼差」や、作り方が希薄になってしまっているのでしょう。

建築環境は、私達に知らず知らずのうちに、無言で大きな影響を及ぼし続けておりますので、ここで深く考えて作る必要があると思えます。敷地や、建築基準法や、各関連の法律や、経済的、構造的、機能的、設備的要素、これらのものにより、かなり拘束されますが、しかし、この全てをクリアし、そして、そのものが「美」として存在し得るものでなければならぬと思えます。その様々な条件を、ただ単に満たすだけのものならば、決して、その出来た結果は、何ら人々に好的環境を与えるものとは成り得ません。

真に人々に良い影響を与え得るものとは、その様々な障害を乗り越えて、その求め得た美的建築の全体像が出来上がった時に、始めて生まれ出るのではないのでしょうか。

近頃、アメニティー空間なるものが、大い

に叫ばれておりますが、しかし、その叫びとは裏腹に増々失われているのが現状であります。だからこそ真にそのアメニティーなる心の復権が今こそ必要と考えます。

建築は、物の存在を深く見詰め、様々な諸条件を乗り越え、そして、共生の精神に基づいて、形や、光や、風、音等を有形無形に渡ってデザインし、生きた美なるものを創造しなければならぬと思えます。そこで始めて、1つの生命感、そして、存在感ある建築物、又は環境が生み出され私達に潤いある生活をもたらしてくれるものと思えます。設計の意義は本来そこにあると云えましょう。

藤歯科様は、このスタンスを良く理解して下さり、この考えの基に仕事をさせていただきました。その結果として、大変気持ちの良い完成を見る事が出来、回りの環境に対し、社会性を持った建築物として、1つのテーマを投げかける事が出来たものと感ずます。これも施主を始めとして、これに携わりました人々のお陰で、深く感謝申し上げたいと思えます。

JO設計 主宰 城越 清

歯科医院の新築・改築・増築から、医院経営まで、すべてわかる。



歯科医院 定価10,300円 (本体10,000円)

開業ガイド

- 〈主な項目〉
- 歯科医院のセクション別実例
 - 歯科医院のレイアウトチェックリストと基本事項
 - 歯科医院のレイアウト実例
 - これから開業される先生方へ
 - オサダからのアドバイス他
- 〈別冊付録〉
- 設備機械、器具、材料リスト



歯科医院 定価6,180円 (本体6,000円)

経営マニュアル

- 〈主な項目〉
- 開業準備の留意点
 - 開業準備計画書/開業収支・資金計画書
 - 歯科医の節税戦略 (青色申告)
 - 特別経費・専従者給与・みなし法人・損益通算・特別償却・MS法人・医療法人
 - 財テク・税テク 他

*御希望の方は下記迄、御連絡下さい。
長田電機工業(株)/顧客センター
〒141 東京都品川区西五反田5-17-5
☎03(3492)7651代



トピックス



医療法人 今兼歯科医院

岡山県倉敷市神田4丁目3-30

院長 今兼則夫

今兼ゆみ (旧姓・富士)



倉敷駅より水島臨海工業地帯に向って車でおよそ20分。付近は整備された広い道路に沿ってオートショップ、レストラン、住宅地が並ぶ。そんな白がメインイメージとして感じる周辺建物の中で、何の建物だろう、と思える程、ひときわ目を引く「今兼歯科医院」。前面の広い駐車場、太いフェニックス、入口近くにはブランコ、鉄棒、砂場など子供さん用の遊園施設まで設けてある。建物は写真でもおわかりのように、巾20m、奥行15mはあるかと思われる総レンガ作り、院名がなければ、ヨーロッパ郊外にあるペンション風ホテルか博物館がそのまま移って来たか、と思わせる。

今回のトピックスは設立10周年を境とし、車椅子専用ユニットを導入。体の不自由な方のために特別診療を始められた今兼歯科医院をご紹介します。

玄関入口のスロープ横に、インターホンと共に「ボタンを押して下さい。お迎えにまいります」の表示が。玄関に入ると、かたわらに段差に対応出来るよう、取りはずし自由なステンレス製のスロープが置かれている。待合室の壁には「心のふれ合う医療、心の通い合う医療の思想から当院では車椅子の治療が出来るようになりました。…御家族、御近所にお体の御不自由な方がおられましたらお伝え下さい。……。」の告示が。健常な患者さん

でもこれを読めば、この医院の医療姿勢、又そうした方々が来院した時は、何か手伝うことはないかと思われる。弱者をいたわるさりげない啓蒙である。

院長は神奈川歯科大学をご卒業後、横須賀と倉敷で勤務医を経験。昭和57年に生まれ育ったここ水島でご開業、奥様であるゆみ先生は、卒業後、岡山大学第2保存学教室に助手として勤務された後、医院を手伝われている。院長は「私は普通の大学を卒業し、一度サラリーマンになりましたが、このままで一生を終わるのは、という疑問から、神大に入りなおし、一から再スタートをしました」と云われるだけあって、自分の人生と歯科医療にかける熱意は人一倍強いようだ。

院内には窓に沿って一般歯科のユニット6台が。後面にU字型のキャビネットを作り、その中に消毒、手洗い、その他の必要器具、機材を収納。効率の良いスマートな医院設計となっている。その脇、広いスペースに車椅子専用ユニット、〈ユニオートR3〉が、車椅子と共に設置されている。これなら車椅子を持たない患者さんでも治療がうけられるであろう。

Q：体の不自由な患者さんのために治療を始められた動機は？

院長：10年間一般歯科診療をして来ました

が、10年を一つのケジメとして、地域医療に歯科医師としてもっと貢献することはないか、と考えたのが動機です。それとたまたま当院にいられていた患者さんが倒れ、車椅子の生活を余儀なくされているのを見て、考えていたことと一致。すぐ医院の一部を改造し、始めました。

Q：改造に当たって留意されたことは？

院長：最初からではありませんでしたので、既製の設備を如何に利用して車椅子を導入させるか、ということです。

入口のスロープも私が車椅子に乗って昇降してみました。急すぎてとても無理なんです。それでそうした方が来院された場合はインターフォンで知らせてもらいスタッフが外に出ていっしょに昇るということになりました。トイレも従来のトイレに取りはずし自由なめこみ式便器を使用時に設置するようにしました。患者さんも来院時には自分で注意されているようで、今のところは問題ありませんね。診療室内入口もたった3cm位の段差ですが無理のようで、削って滑らかにしました。

Q：どの位の来院数ですか？

院長：今のところは週2~3人です。もっと来てもらいたいと思いますが、治療時間が



歯医者の環境

る、心のふれ合う医療を実践してくれています。

Q：ゆみ先生にお聞きますが、こうした治療の導入に対する抵抗感は？

ゆみ先生：初めから全くありませんでした。今は子育ての最中ですが、手が離れたら「手話」を覚え、耳の不自由な方ともお話ができるようになりたいと思っています。生涯を通じ、社会と関わり合いを持てるこの仕事を選んで本当に良かったと思っています。

Q：区切りの10年を振り返ってのご感想は？

院長：開業当初は治療内容や、又感じていることについて色々文句を云う人は嫌だな、と思っておりましたが、近頃は文句を云ってくれる患者さんはそれだけ真剣にこちらのことを考えていてくれるんだとわかって来ました。文句を大切に(笑)、これからも頑張って参り度いと思っています。

Q：友人、知人にコメントを…。

院長：友人、知人というわけではないのですが、大学時代お世話になった諸先生方、並びに現在お世話になっている諸先生方に、この誌上をお借りして、厚く御礼申し上げます。今後とも御指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



一般の方より3~5倍かかりますから、現状は手一杯の状態、残念です。

Q：経営については？

院長：やはりこの治療だけですと経営面は圧迫されますね。しかし、こうした方々の治療をすることによって、医院イメージや他の患者さんに与える影響度は大きいと思えます。先日など車椅子の患者さんが、あそこは親切だからと普通の患者さんを連れて来てくれました。又、今は健常でも人間は何時車椅子の世話になるかもしれないし…。ここがあれば年をと

っても歯の治療は大丈夫だ、といわれる患者さんも多いです。

Q：スタッフの訓練については？

院長：我々はプロの集団ですから導入にあたっては何回か訓練をしました。又、ベテランのスタッフが常に手が空いてるとか、在院しているか、わかりませんから、初めての人でもわかるようにテキストを作りました。その順番に従って行動すれば問題なく院内まで導入することが出来ます。時には他の患者さんが手助けをしてくれました。わたしのモットーであ



飯塚歯科医院

福島県いわき市小名浜字定西46番地

院長 飯塚一郎

鈴木 路代さん
平井 孝枝さん
樋田 綾さん
佐川 厚子さん
伊藤 三樹さん
井出真由美さん

小名浜、平(たいら)、泉、渡辺村が合併し、日本一広い面積をもつといわれる「いわき市」。飯塚歯科医院はJR常磐線泉駅から車でおよそ10分程の小名浜港にほど近い住宅街に、広い敷地を有し建っている。

駐車場に面したゆったりとした診療室。側面の身障者専用治療室には車椅子専用ユニット、ユニオート(R3)が。三間四方はあるかと思われる広さは、中での回転も充分。院長の歯科医療に対する姿勢がわかるようだ。

院長は日本大学歯学部を昭和42年にご卒業。その後同大補綴科にて勉強された後、平市にもどり3年余り勤務。47年に開業に踏みきったといわれるから今年丁度20周年。脂に乗った50才である。

近年の衛生士不足に対して「現状を考え、学校を増やすか、定員数や推薦制度を緩和し、今を乗り切る対策を」と云われる。診療に対しても「歯科医師1人の力は微力であるが、その中で社会の為に成すべきことは何か、を

自ら考え、それに向って全力で努力することが大切」と云われる。そんな院長のご性格を反映してか、スタッフ一同も和気あいあいの中にも歯科医療に対する熱意の強さを感じさせる。

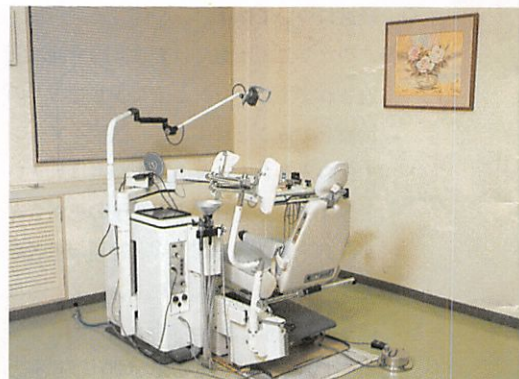
最初にご紹介の鈴木さん。東京医学技術専門学校を卒業され、知人の紹介で当院へ。今年4年目を迎えるそろそろベテランの域に入る衛生士さんだ。「体力はある方なのですが、立ちっぱなしの仕事で、色々な方が来院されるので、その対応等、思っていたより大変な仕事でした」と正直に。この仕事に就かれて良かったと思うことは? 「ここは体の不自由な方のために車椅子を使つての診療をやっておりますが、歯が痛くても設備がないと他院で断られ、我慢してやっと見つけて来られた方が多く…。当院で治療し喜ばれると、ここに入って良かったなあーと感じます」。一見おとなしそうであるが、芯はしっかりしている印象。剣道2段ゆえ姿勢も良い。

平井さんは元気ハツラツ。当院で既に7年目を迎える明るい印象のアシスタントさん。「最初は色々覚えることが多く、大変な職業だと思いましたが、院長の雰囲気、方針が好きでアツという間に7年が過ぎてしまいました」。入局の動機は? 「高校卒業時、医療関係の仕事に進みたいと先生に話したら、教え子の中に歯科医師がいるからと紹介され、すぐ決めてしまいました。院長は厳しい? 「診療を離れた時は友達感覚ですが、仕事中は厳しいですよ。職場はたのしく、仕事は厳しくがモットーです。これがいいんですね(笑)。女性スタッフの要(かなめ)であろうと想像するが、院長にとっても頼もしい存

在であろう。「歯に病む人が相手ですから、皆さんにやさしく、と思うのですが、中々出来なくて(笑)。でも身障者の方々には精一杯努力しているつもりです」と明るくハッキリしたご返事。

樋田(といた)さんは入局一年半。この仕事に少しはなれたかな、と思われるアシスタントさん。「まだまだ色々覚えることばかりです。でも患者さんと再三会っている中に、次第に仲良くなれる、そんな雰囲気を持つこの仕事は好きですね」とこの職業観を語ってくれる。「朝は9時から診療開始なので、全員8時10分~15分までに来て、夕方は7時半ぐらいになってしまい、思っていたより大変な仕事ですが、皆さん親切でたのしい職場ですよ」と最後に医院のPR。

佐川さんも高卒後すぐ当院に入局された経験2年のアシスタントさん。「介補の仕事が好きで、老人ホームか保育園、看護婦さん等も考えたんですが、子供さんからご老人まで色々な方と接することが出来るこの職業が良いよ、と叔父に勧められ入りました。今は受付をしておりますが、毎日60~70人位の方と接しますので、最初は疲れましたが、近頃



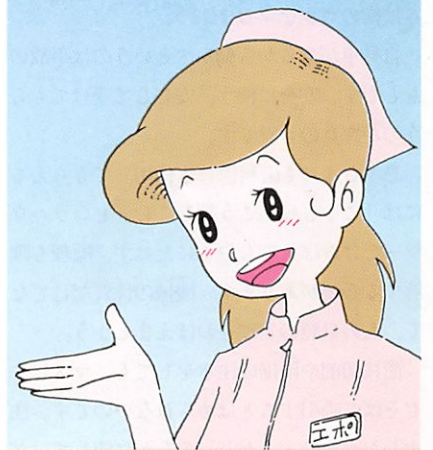


アシスタント のための 診療室の手引き



定価6,180円
(本体6,000円)

アシスタントとしての心構えから話し方、患者さんへの対応の仕方、会計、消毒、手渡し技術等々をわかりやすく解説。また、簡単な機械のメンテナンスも図付で説明。アシスタントのノウハウを詰め込んだ一冊です。



※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。

長田電機工業株/顧客センター
〒141 東京都品川区西五反田5-17-5
☎03(3492)7651(代)

やっとな慣れて来ました。やさしいご性格のようだ。受付として大変なことは？「患者さんは私をプロとして見ますから、色々質問して来ます。でもまだ経験が浅く時々返答に困ってしまって…。信用落ちちゃうかな、と不安になります。他の職業も、と時々思うのですが、きっと他の職業についても、やりがいがなくつまらなくなってしまうと思います。他の職業に変わる女性が多いと聞く昨今。将来がたのしみだ。

伊藤さんは今年入局したばかりのホヤホヤアシスタントさん。この職業はどうか？「今はちょっと疲れて大変ですが、先輩が可愛がってくれますから…。大丈夫、続けられそうです」と頼もしいご返事。「まだ助手の資格も取っていませんから、早く覚えて資格を、と思っています。心掛けていることは？」「とにかく声をかけて、患者さんにやさしく、ということです」。毎日緊張の連続であろうが、2~3年後には大きく育って行くことであろう。

井出さんは東北歯科専門学校を卒業された、伊藤さんと同じく今年入局されたばかりの衛生士さん。今の感想は？「まだまだ仕事の流れもわからないぐらいで…。学校の実習でやって来たことと実際は大違いで、大変です。車椅子診療の介助も、初めは不安でしたが、患者さんは痛がっていますし、私達が当然しなければならない大切な仕事、と思えるようになって来ました。口数も少なく、取材でコチコチ、という印象であるが、我慢強いご性格のように見受けられる。医療という職業、こうしたご性格は将来きっとプラスになっていくことであろう。



院長 飯塚 一郎

都会地と違って、地方ではやはり患者さんとの暖かいふれ合いが第一ですね。スタッフに常々云っていることは、とにかく短かくても良いから愛情を持って一言声をかけなさい、ということです。車椅子使用者の治療を始めましたが、アチコチで断られた身体に障害をもつ方が口込みで来院されます。そうした時の方が、スタッフは燃えるというか一生懸命やりますね。やはり医療に従事しているという使命感がそうさせるのではないかと思います。仕事の内容、給料、時間等、他の職業と比べて決して恵まれているとは思いませんが、若い方にそうした“やりがい”を引き出してやるのも、院長の姿勢・責任ではないかと思います。昔のことを云ったらキリがありませんが、今の20代の女性の勤務態度から云えば、当院のスタッフは満点だと思っています。

押谷歯科医院

愛知県岩倉市神野町又市14

院長 押谷正香

(愛知学院大学歯学部卒・39才)



**形も良くてコンパクト。室内インテリアも
総てユニットに合わせました。患者さん
の評判も良く、気持ち良く使っております。**

名鉄犬山線岩倉駅から車で5〜6分。郊外住宅地の広い角地で開業されていたが、此の度建物を一新。その一階一角で装いも新たに再開業。広くゆったりとはいかないが、効率良く各所がまとまっている。「父は医者(勤務医)だったんですが、各地の病院を回って。その苦労を知っていたものですから、知人の薦めで歯科を選んだんですが、今はちょっと後悔しています(笑)。何故?「医療という観点から、歯周病を特に重視してやっておりますが、患者さんとの意識のギャップというのかな、何か空回りをしているような気がして…。新しく建て替えたのも、保険、過剰、スタッフ問題等、今の歯科医療制度の構造的ともいえる不安からです。」「保険制度そのものについては医者である父を見ていて変わらないと思いますが、内容が細かすぎ、その裁量権さえ奪われているという現実。皆さん同じだから自分で解決すべき問題でしょうが、歯科医師として真剣に生きようと思え

ば思うほど、矛盾を感じますね」。誠実に真面目に歯科医療一筋に歩もうとする熱意が伝わって来る。一日も早い制度の改善を、と願わずにはられない。

◆

開業当初は資金面の問題で、スマイリーTタイプを使っていたが、オサダはメインテナンスを本当に良くやってくれました。今回の買換えに際して、GMを考えていたんですが、ショールームでこの「ファインGM」L型を見て、形も良く、コンパクトな作りで一目で気に入ってしまいました。室内のインテリアもこのユニットに総て合わせました。患者さんの評判も良いようで、気持ち良く使っております。



OSADA
Fine GM L型

製造承認番号03日第0455号

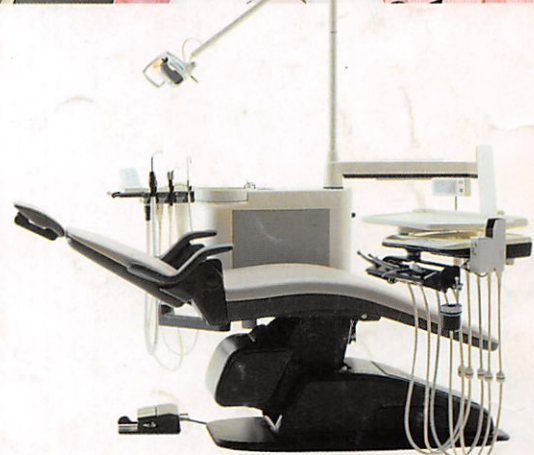
※資料ご希望の方は、商品名、掲載誌名を明記の上、本社顧客センター宛にハガキでご請求下さい。

診療室訪問シリーズ

三島歯科医院

広島市中区富士見町9-14
(広宣ビル2階・3階)

院長 三島栄二
(日本大学松戸歯学部卒・34才)



スマイリーファイン
SMILY Fine S型

製造承認番号63B第0810号

お年寄りや子供さんでも座りやすい最低位。

オサダのユニットは初めてですが、

スマートな形と使いやすい設計に、

一目で気に入ってしまいました。

広島市街を南北に走る中央通りに面して建つ、銀色に光る広宣ビルの2・3階をお父様から借りてご開業の三島歯科医院。「広さ(約15坪)の関係から2フロアーということになってしまいましたが、内部にラセン階段をつけることによって、それを

解消しました」と云われるだけあって、それがかえって落着きとモダンなイメージを与える。待合室と診療室にはそれぞれの

状況を表わすテレビが設置されている。これならご老人の介輔者や子供を治療中のお母さんにとって一目でわかり好都合であろう。

院長は卒業後、東京・虎ノ門で4年、地元広島に戻って2年

間勤務医を経験。昨年6月ご開業されたばかりの青年医師。「東京で開業をと考えていましたが、長男で男1人、父の永年の夢、ビルが完成したことから協力しました(笑)。「勤務医時代もそうでしたが、自分で開業しても、患者さんの治療の良否は必ず自分にはね返って来ます。地域の歯科医に徹し、将来はデンタル・チームを組み、それぞれの役割を決め、各自が責任を持つ治療を、と思っております」。曲線をとりに入れた窓、柔らかな演出とともに、スタッフの皆さんも和やかな雰囲気。爽やかな印象の歯科医院である。

色々なユニットを経験しましたがオサダだけは使ったことがなかったんですよ。たまたまこのスマイリーファインS型を見たら、スマートで流線型をえがく形にすっかり魅了され…。最低位もお年寄りや子供さんにとって座りやすい設計となっていて、使い心地も良く、全く問題はありませぬ。

※資料ご希望の方は、商品名、掲載誌名を明記の上、本社顧客センター宛にハガキでご請求下さい。